主 催：公益社団法人 日本建築士会連合会
共 催：建築士会東北ブロック会
（青森／岩手／宮城／秋田／山形／福島）
主 管：一般社団法人 秋田県建築士会
後 援：国土交通省、秋田県、秋田市



［発 行］一般社団法人 秋田県建築士会
〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 アトリオンビル5階
TEL：018-827-3718　FAX：018-827-3873
http://akitakenchikushikai.or.jp/

写真提供：instagram.com/ksty.p.s（深澤公一）、設計チーム木協同組合

第64回 建築士会全国大会 あきた大会

64th Japan Federation of Architects & Building Engineers Associations AKITA Convention 2022



『建築』で挑戦！郷土のこれから

～け、け、けの秋田で まずかだれ～

『建築』で挑戦！郷土のこれから

～け、け、けの秋田で まずかだれ～

け

一の け 秋田に来て！

二の け 秋田の食文化を楽しんで！

三の け 秋田の建築文化を知って！

かだれ ゆ～っくり、かだってげ～
（語ろうor仲間に入ろう）



CONTENTS 目次

03 大会宣言
05 歓迎のことば
一般社団法人秋田県建築士会 会長　淡路 孝次
07 挨拶　公益社団法人日本建築士会連合会 会長　近角 眞一
09 祝辞　秋田県知事 佐竹 敬久
10 祝辞　秋田市長 穂積 志
11 大会概要
12 タイムスケジュール
13 会場案内
15 記念対談　モンテ・カセム氏 × 仙田 満氏
17 青年委員会セッション
18 女性委員会セッション
19 景観・街中（空き家）まちづくりセッション
20 福祉まちづくりセッション
21 防災まちづくりセッション
22 歴史まちづくりセッション／
第９回全国ヘリテージマネージャー大会
23 木の建築賞
24 環境部会セッション
25 木のまちづくりセッション
26 情報部会セッション
27 秋田セッション
28 大会式典プログラム
29 大会式典会場案内
30 来賓芳名
33 表彰者
36 表彰受賞者紹介
37 記念展示
38 企業出展
39 地域交流見学会 マップ
40 地域交流見学会 Aコース
41 地域交流見学会 Bコース
42 地域交流見学会 Cコース
43 地域交流見学会 Dコース
44 地域交流見学会 Eコース
45 地域交流見学会 Fコース
46 地域交流見学会 Gコース
47 地域交流見学会 Hコース
48 協力・協賛
49 広告

あきた自慢こ12か条

「あきた自慢こ１２か条」は、県民の方々に秋田の風土、伝統、文化、環境など、秋田ならではの魅力を再認識していただき、地域や団体、さらには県民レベルによる自発的な秋田の魅力の発信につなげるため、県が作成したものです。

県のキャッチコピーである「あきたびじょん」の11のテーマ、「美人」、「温泉」、「農」、「酒」、「水」、「森」、「雪」、「食」、「子ども」、「伝承」、「先端技術」に「秋田弁」を加えた計12のテーマについて、ユーモア感覚を交えながら秋田の良さを伝える親しみやすいフレーズとなっております。その中で「秋田弁」は、「こっちへ来い」、「食べれ」、「かゆい」を表す世界最短の言葉「け」の一文字でコミュニケーションできる秋田人を自慢するものです。

なお、大会サブテーマである「け、け、けの秋田で まずかだれ」は、この「秋田弁」を引用し、大会で秋田を訪れる方々に「あきたの魅力」をお伝えする「おもてなし」の気持ちを表したものです。

秋田県HPより
「あきた自慢こ12か条」

大会宣言

秋田県は緑深き山や森に囲まれ、春夏には新緑の芽吹き、秋には黄金色の田園風景、冬には白銀の静寂と、四季折々の風景が雪国ならではの文化を育み、自然と共存する古き良き日本の原風景を色濃く残しています。

また、公家文化と武家文化が融合した角館の武家屋敷群、独特の建築様式「内蔵」を備え特徴的な景観の増田の街並み、十和田ホテルをはじめとする天然秋田杉を活かした建物など、県内各地に歴史や気候風土に根差した建築が息づいています。

そんな美しい自然に恵まれ、先人が育んできた魅力溢れる資源を有する秋田は、その一方で、日本一早く進む人口減少と少子高齢化により、地域コミュニティの維持や文化・伝統の継承が危ぶまれる地域でもあります。

安全で安心して住み続けられる豊かな郷土づくりのためには、自らが暮らす地域の文化・伝統を守り続ける努力とともに、魅力と活力に溢れる新しいまちづくりを進め、未来の豊かな生活へと繋ぐ一翼を担うことが、私たち建築士の大きな使命であると考えます。

ここに、本大会のテーマを、

“『建築』で挑戦！郷土のこれから”

と掲げ、次のとおりアピールします。

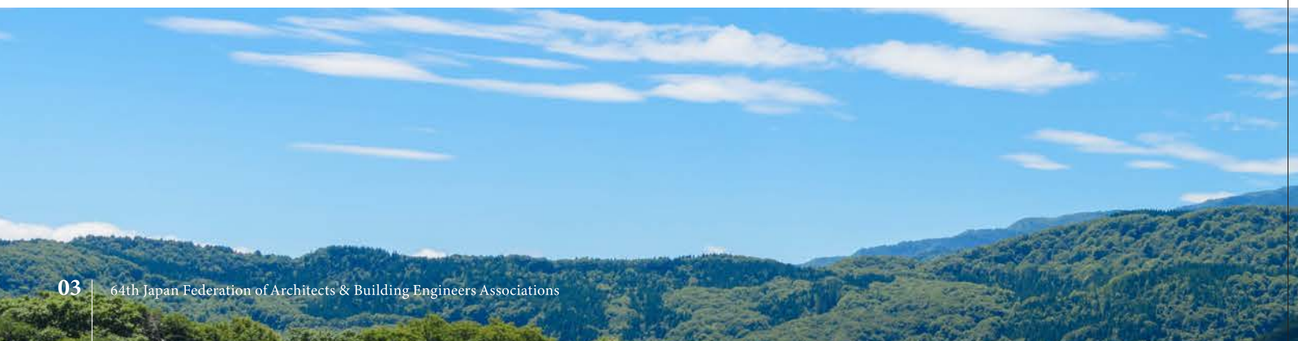
それぞれの地域で、人々により連綿と受け継がれてきた美しい街並みや建物、地域コミュニティや伝統・文化の継承が、少子高齢化・人口減少による地域の衰退とともに失われようとしています。

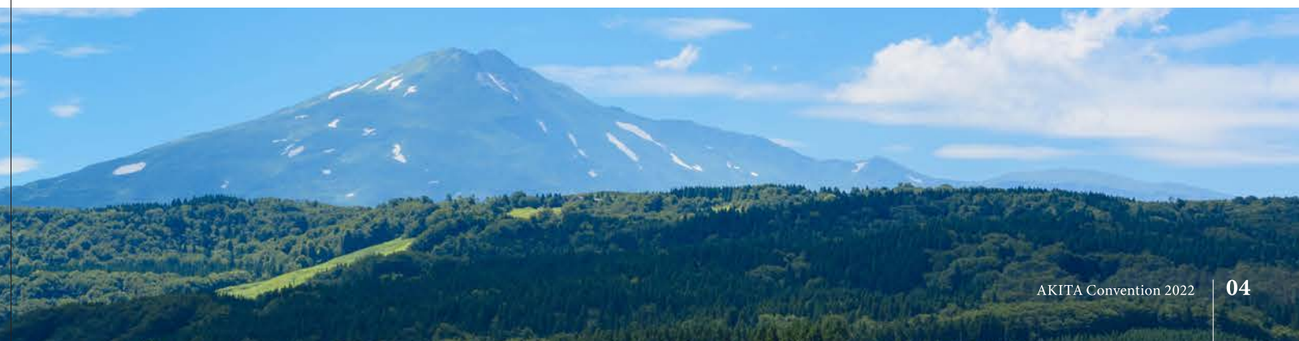
安全で安心して住み続けられる豊かな郷土づくりのために、私たち建築士は、自らが暮らす地域の伝統・文化を守り続ける努力をするとともに、生活を支える建築の専門家としての自負のもと、地域活性化の先導的役割を果たさなければなりません。

さらに、頻発する甚大な災害から、尊い命や豊かな暮らしはもとより、地域財産としての貴重な建築文化を守り継承していく努力も必要です。

第64回全国大会では、私たち建築士が、それぞれの郷土の未来のために取り組むべきことを共有し、誇りを持って力強く挑戦し続けていくという決意を、47都道府県建築士会会員同志とともに、次のとおり宣言します。

一、地域活性化の先導役を果たし、豊かな住環境を未来に継承する。
一、専門的知見を活かし、災害に強い建物づくり・街づくりを推進する。
一、次代を担う建築士が育つ環境づくりと、共に行動する会員の増強を図る。





歓迎のことば



淡路 孝次
第64回 建築士会全国大会「あきた大会」主管
一般社団法人 秋田県建築士会 会長

第64回建築士会全国大会「あきた大会」を開催するにあたり、歓迎のことばを申し上げます。

全国津々浦々から遠路はるばるみちのく秋田までようこそおいで下さいました。秋田の輝く実りの季節に皆様をお迎えでき、心より歓迎致します。

また、本日はご多用のところ、国土交通大臣・林野庁長官、秋田県知事、秋田市長を始めとする県内市町村長、並びに多数のご来賓の皆様、そして全国からお集まりの会員の皆様のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

思えば、新型コロナウィルス感染症のパンデミックという未曾有の事態に直面し、先行きの見通せない中での準備作業は文字通り手探りの連続でした。コロナ渦前の日常を取り戻すには道半ばの状況で、こうして多くの皆様にお越し頂き、無事に開催の日を迎えられたことは、偏に会員の皆様、関係者の皆様からの多大なるお力添えの賜物です。この場をお借りし深く感謝申し上げます。

会場までの道中、車窓から黄金色に輝く稲穂の絨毯や錦のような紅葉に彩られた山並みをご覧頂けたでしょうか。秋田県は四方を雄大な山々と日本海に囲まれ、四季折々の美しさにあふれる土地です。山からの豊かな水が流れ込む肥沃な大地の恵みにより独自の食生活が発展し、また、地域によって特色の異なる有形・無形の文化遺産が数多く存在しております。大会会場からほど近い秋田県立美術館に展示されている藤田嗣治の大壁画「秋田の行事」には、秋田の祭り、暮らし、産業、歴史が色彩豊かに描かれており、時を超えて今もなお文化が連綿と受け継がれていることに感慨深い思いが致します。

このように魅力あふれる地域である秋田県は、一方で人口減少と高齢化により、地域コミュニティの維持や文化・伝統の継承が危ぶまれる地でもあります。私たち建築士は、自らが暮らす地域の伝統・文化を守るとともに、生活を支える建築の専門家であるとの誇りを持ち、地域活性化の先導的役割を果たしていくべきと考えます。

今大会のサブテーマの「かだれ」は「語り合おう」の意味のほかに、秋田のお国言葉では「仲間に入って！」の意味を持っています。秋田県が直面する問題を全国共通の問題と捉え、皆様に“仲間に入って”頂き、いま建築士に何ができるか、何をするべきかについて存分に“語り合い”、議論を深めて参りたいと考えております。

この大会を通した様々な出会いがそれぞれの属する地域社会に潤いをもたらし、次世代への橋渡しとなるよう願っております。結びになりますが、皆様の一層のご健勝とご活躍を祈念致しまして、歓迎の挨拶とさせて頂きます。

挨　拶



近角 眞一
公益社団法人 日本建築士会連合会 会長

皆様、第64回建築士会全国大会「あきた大会」へようこそお出で下さいました。公務ご多忙にも関わらず、国土交通大臣をはじめ、秋田県知事、秋田市長並びに関係諸団体の代表の方々のご臨席を頂き、まことに光栄のことと存じます。

3年続きの新型コロナウイルス感染症の流行で、２年前の広島大会は延期、そして昨年は広島から遠く離れた東京での開催となりました。今年は、最大級と言われた第７波が峠を越え、ずっと下降を続けているタイミングに巡りあい、何としても現地開催という全国の建築士の方々の熱意に支えられ、本日の開催に漕ぎつけることができました。大勢参集頂きました皆様方のお力添えに改めて深く感謝を申し上げます。

今回の「あきた大会」のテーマは「『建築』で挑戦！郷土のこれから」であります。地域の文化・伝統を守り、魅力と活力に溢れる新しいまちづくりを担う「あきたの建築士」の挑戦を間近に見ていただき、郷土のこれからを作り出す活動について、〜け、け、けの秋田で　まずかだれ〜、と全国の建築士の仲間と共に語り合おうとの呼びかけに是非応えようではありませんか。

建築士会の全国大会は、列島各地の様々な課題に「建築」で挑戦している仲間から勇気をもらい、且つ、また勇気をお返しするための大会です。様々な災害で打ちひしがれている時、人口減少が著しく地域コミュニティの維持も難しく思える時、各地で同じ課題に「建築」で挑戦する仲間と語り合うことで、知恵が生まれ、道も開け、連帯の力が発揮されて行くのです。

連合会は今年で創立70周年を迎える節目の大会となりました。結成当初に参加した34士会は戦後の焦土の中から立ち上がった仲間であり、その後12建築士会が、そして20年後に沖縄県建築士会が加わり、新たな発展に向けて「建築」で挑戦する仲間は広がってきたのであります。

今、連合会は地球温暖化による気候変動がもたらす自然災害の激甚化に対抗するために、その連帯を世界の国々まで広げ、日本が一丸となって取り組む脱炭素技術の担い手となる建築士養成のプログラムを開始しようとしています。

本大会でも、世界に繋がる価値観を共有する建築士達の発表があります。その活動が誰にとっても身近な住まいや暮らしを守ることに直結していることを感じ取って頂きたいと願っています。

結びに、コロナの行く末が見えない中、複数の選択肢を射程に入れ、粘り強く最善の着地点に到達された秋田士会の皆様のご努力に深く感謝申し上げると共に、それを支えて下さった県や市、地元の関係者のご厚意、ご理解に心よりお礼を申し上げます。

祝　辞



佐竹 敬久

秋田県知事

この度、第64回建築士会全国大会「あきた大会」が多くの関係者の御出席のもと、盛大に開催されますことをお祝い申し上げますとともに、全国各地から御来県いただきました皆様を心より歓迎申し上げます。

また、本大会を主催される公益社団法人日本建築士会連合会の皆様には、日頃より建築分野の専門的な立場から地域社会の健全な発展と安全で快適な住環境の整備に努められていることに、深く敬意を表し、心より感謝を申し上げます。

さて、本県では、県政の新たな運営指針となる「大変革の時代・新秋田元気創造プラン」を、この4月からスタートさせており、従来の発想にとらわれない、本県の優位性を生かした各種施策を展開することにより、様々な県政課題の解決を図っていくことにしております。

建築・まちづくりの分野においては、持続可能で活力にあふれたコンパクトなまちづくりの実現に向け、これまで、秋田市中心市街地の再開発事業等を実施してきたところであり、9月には、新たな賑わい創出の核となる「あきた芸術劇場ミルハス」がグランドオープンしました。本施設には秋田杉がふんだんに使用されているほか、樺細工や川連漆器、大館曲げわっぱなどの伝統工芸品が随所にちりばめられており、今後は、「秋田文化の殿堂」である本施設を中心に、本県ならではの文化資源を県内外に発信し、質の高い文化芸術を通した交流人口の拡大や県全体の賑わいの創出を推進してまいります。

また、歴史的、文化的な建築物に関しては、重要伝統的建造物群保存地区である仙北市角館と横手市増田において、特色あるまち並みの創出に取り組んでおり、引き続き、まちの魅力を高め地域の貴重な固有資産を次世代へ引き継ぐ活動を進めてまいります。

近年、建築士に求められる役割も大きく変わりつつあることから、お集まりの皆様方には、本大会の記念講演や活動報告などを通じて、知識や技術の向上を図られるとともに、今後の実務に活かされますことを御期待申し上げます。

結びに、本大会の御成功と公益社団法人日本建築士会連合会の今後益々の御発展、並びに、本日御出席の皆様方の御健勝と御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

祝　辞



穂積 志

秋田市長

第64回建築士会全国大会「あきた大会」が、各地から多くの関係者の皆様をお迎えし、秋田市で盛大に開催されますことは、誠に喜ばしく、本日お集まりの皆様を心から歓迎申し上げます。

また、建築士会の皆様におかれましては、長きにわたり建築分野の知識・技能の向上にご尽力され、日頃から建築士会の活動を通じて地域の発展やまちづくりに寄与していただいておりますことに深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

本市では、令和3年3月に、人口減少・少子高齢化の進行といった本市を取り巻く課題、新型コロナウイルス感染症による社会の変容など時代の大きな転換期にあって、次の世代に引き継ぐことができる元気な秋田市を、「私たちのまちを、ともに「創」り、ともに「生」きるための計画」として、第14次秋田市総合計画「県都『あきた』創生プラン」を策定したところであります。

この計画の基本理念である「ともにつくり　ともに生きる　人・まち・くらし」の実現に向け、まちを元気にし、次の世代に引き継ぐ原動力は市民一人ひとりであるとの認識のもと、市民のまちづくりに関わる機会の拡大、本市の豊かさ・魅力の掘り起こしや発信等を通じて、市民がまちへの愛着や誇りを感じ、このまちをより良くするために関わる当事者意識「シビックプライド」の醸成に努めているところであります。

こうした中、本大会のテーマである「『建築』で挑戦！郷土のこれから」は、まさに本市の理念と同じくするものであり、本大会が本市で開催されますことは、大変意義深いものであります。本大会は、秋田で暮らす私たちにとっても、「地方で生きる」ことの価値と意義を改めて捉え直し、本市が市民と一緒に魅力あるまちづくりを進めていく上で大変参考になるものと考えており、建築分野におけるまちづくりの担い手である皆様にとって、本大会が有意義なものとなりますとともに、本市の取組にも重要な示唆を与えていただければ幸いです。

結びに、公益社団法人日本建築士会連合会および一般社団法人秋田県建築士会のますますのご発展、会員の皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

大会概要

テーマ

『建築』で挑戦！郷土のこれから

～け、け、けの秋田で まずかだれ～

会　場	…あきた芸術劇場ミルハス
期　日	…令和4年10月14日（金）
主　催	…公益社団法人 日本建築士会連合会
共　催	…建築士会東北ブロック会
主　管	…一般社団法人 秋田県建築士会
後　援	…国土交通省、秋田県、秋田市


赤れんが郷土館


秋田駅前バスターミナル


会場：あきた芸術劇場ミルハス（令和4年6月竣工）


秋田市文化創造館


赤神神社 五社堂


道の駅ふたつい


ニプロハチ公ドーム


康楽館


竿燈まつり


乳頭温泉郷


田沢湖

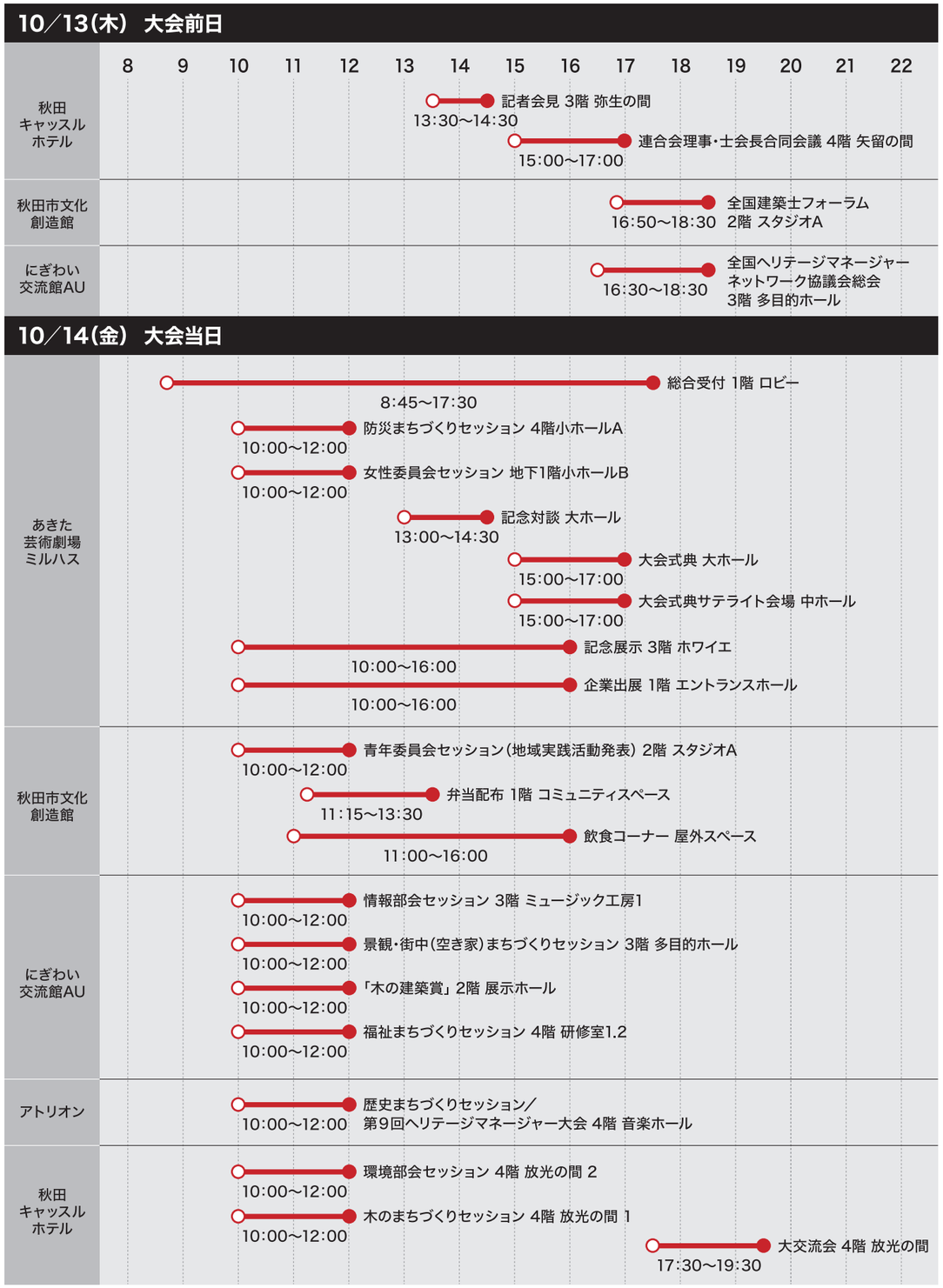

曲げわっぱ


樺細工


いぶりがっこと日本酒


稲庭うどん

タイムスケジュール



会場案内（あきた芸術劇場ミルハス）

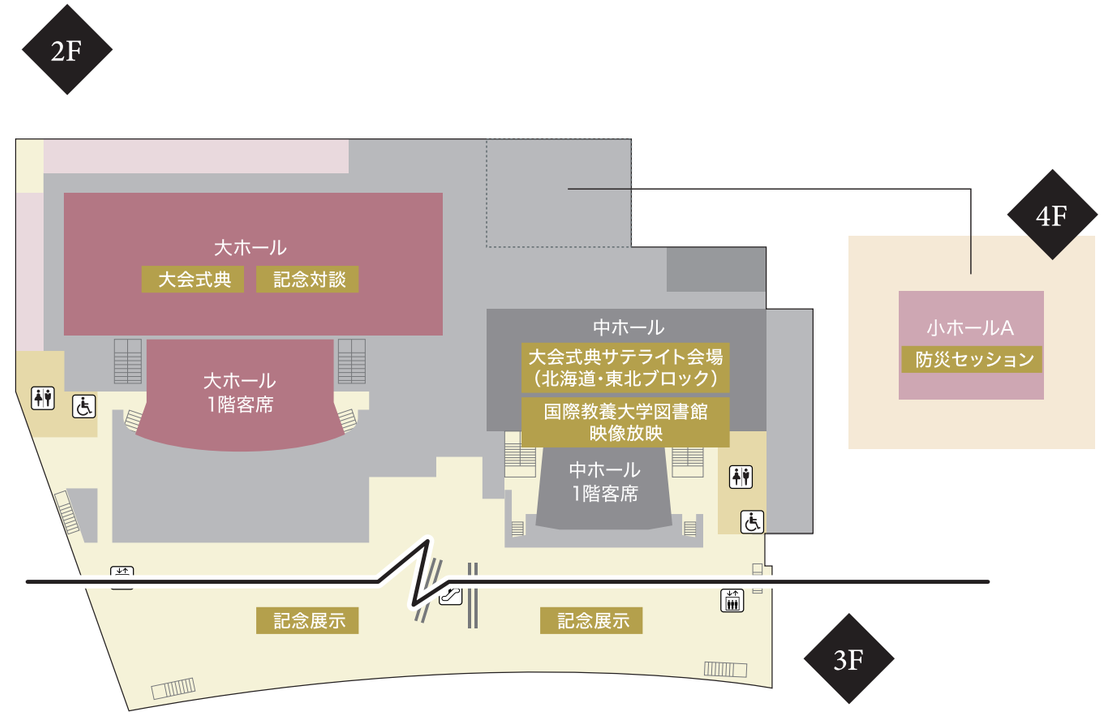


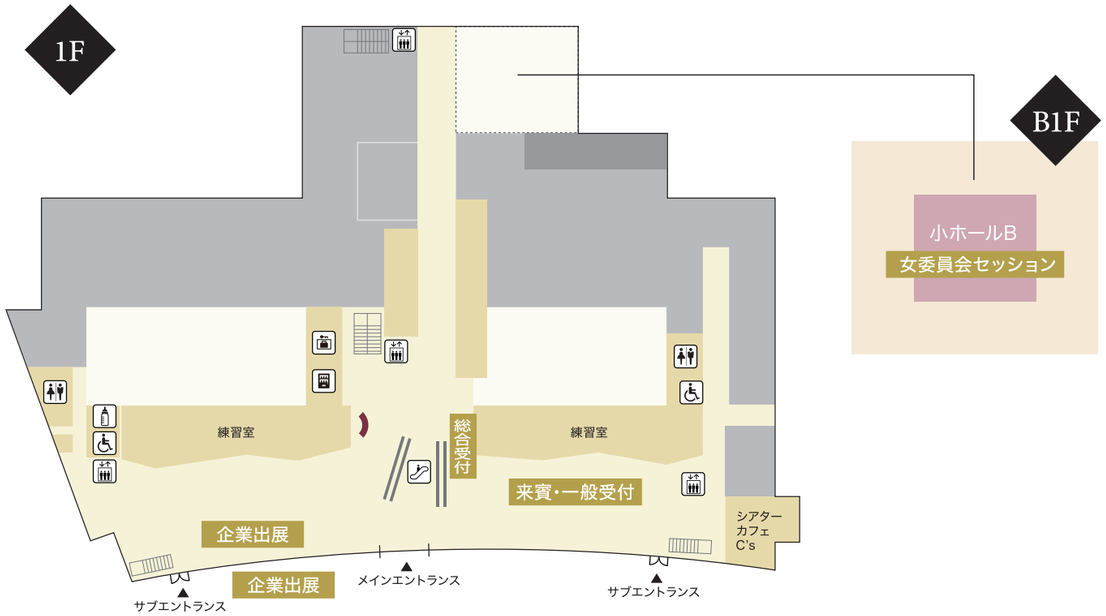
10月14日（金）　時間別会場案内（主会場／あきた芸術劇場ミルハス）

8:45〜17:30	総合受付	ミルハス1階 ロビー			A
8:50〜10:50	秋田セッション	ミルハス前			A
9:10〜11:10		ミルハス前			A
9:30〜11:30		ミルハス前			A
10:15〜11:50		秋田空港			
10:00〜12:00	交流セッション	青年委員会	B	歴史まち	C
	（10プログラム）	女性委員会	A	木の建築賞	D
		景観・街中	D	環境部会	E
		福祉まち	D	木のまち	E
		防災まち	A	情報部会	D
10:00〜16:00	記念展示	ミルハス3階 ホワイエ			A
10:00〜16:00	企業出展	ミルハスエントランスホール			A
11:00〜16:00	あきた飲食ブース	秋田市文化創造館 屋外スペース			B
13:00〜14:30	記念対談	ミルハス大ホール			A
15:00〜17:00	大会式典	ミルハス大ホール・中ホール			A
17:30〜19:30	大交流会	秋田キャッスルホテル4階 放光の間			E

10月15日（土）

エクスカーション受付・・・・・・・秋田市文化創造館前　B





日　時…10月14日（金）13:00〜14:30
会　場…あきた芸術劇場ミルハス 大ホール

演　題

『秋田杉、そして建築の挑戦』

〜「“秋田発”世界標準の大学」を支える「美しすぎる図書館」〜

対談者



モンテ・カセム氏
国際教養大学理事長・学長／
元立命館アジア太平洋大学学長



仙田　満氏
環境建築家／（株）環境デザイン研究所会長／
東京工業大学名誉教授



国際教養大学 中嶋記念図書館（写真提供：国際教養大学）

対談趣旨

大会テーマ **「『建築』で挑戦！郷土のこれから 〜け、け、けの秋田でまずかだれ〜」**

地域の持続可能な社会実現のため、地域に住む人々が歴史や文化に誇りを持ち、愛着を感じることが重要とされています。我々建築士は率先して郷土を見つめ直し、「シビックプライド」を持ち、建築・まちづくりを通じて、これからの郷土の創造に挑戦します。

シビックプライド

**秋田県には全国に誇る
シビックプライドの対象が
数多く存在します。**

秋田杉

年輪の幅が揃い、木目が細かく美しい秋田杉は、日本三大美林の一つとして古くから建築用材等に利用される秋田の宝です。

国際教養大学

平成16年開学の国際教養大学は、「偏差値は東大並み、就職率100%」のグローバルスタンダード大学。新たな秋田のシビックプライドです。

中嶋記念図書館

「24時間365日開館の杜の図書館」は中嶋嶺雄初代学長の「いつでも勉強できる場、秋田杉の木構造による大学の象徴としたい」との思いから実現したものです。「本のコロセウム」をテーマに「本と人との出会いの場となる劇場空間」として設計されたものであり、「一度は訪れたい美し過ぎる図書館」として評価されています。秋田杉と伝統技術を生かした傘型屋根が織りなす落ち着きと安らぎのある空間は、学習意欲を喚起させ、大学での厳しい学習を支えています。

モンテ・カセム氏

令和３年６月、第３代学長に立命館アジア太平洋大学学長等を歴任したモンテ・カセム氏が就任しました。産業政策・都市工学・建築学、国土計画、地域経済学等を研究分野とされ、大学で建築学、大学院で都市工学を修学した後、建築士としてスリランカの公団デザインコンサルタント部、日本の建設会社設計部で建築実務に携わっています。

仙田　満氏

図書館の設計者は我が国の環境デザイン分野のパイオニア、仙田満氏です。東京工業大学教授や日本建築学会・日本建築家協会会長等を歴任したほか、日本建築学会大賞や日本建築家協会賞など、数多くの賞を受賞しています。また、知的生産者の公共調達に関する法整備連絡協議会委員長を務め、我が国の知的生産者選定システムの改善について発信しています。

記念対談

中嶋記念図書館の使い手のカセム氏から、大学の理念や特色、地域との関わり、大学を支える秋田杉による建築など、作り手の仙田氏から、図書館の紹介や設計コンセプト、秋田杉による建築実現のための手法などのお話しをいただく対談を企画いたしました。

さらに、建築士であり、サステイナビリティ学を研究分野とするカセム氏と、「地球環境・建築憲章」起草委員長を歴任した環境建築家の仙田氏の両者から、郷土の未来や持続可能な社会実現のために、地域資源や建築・工学が果たす役割、建築士がシビックプライドを認識し、どのような挑戦ができるのかを、おおいに語り合ってもらおうとするものです。

青年委員会セッション

テーマ

地域実践活動発表会

運　営 ＞ 青年委員会

日　時…10月14日（金） 10:00〜12:00

会　場…秋田市文化創造館 2階 スタジオA

本セッションでは、全国で展開している青年建築士の活動をブロックごとに選出し、一同に発表する「地域実践活動発表会」を開催します。

各地域での青年委員会の活動は多岐にわたり、建築士会だけではなくさまざまな団体、企業、自治体などとともに、子どもたち向けのイベント、まちづくり、防災などの日本や建築の未来をよくする活動を行っております。

地域に根ざした活動事例を参加者で共有し、活動をさらに発展させるための発表の場としてのセッションを開催します。

最近は、発表の手法が動画を中心にかなり凝った仕様になっています。参加者にとっては、自県の活動のヒントになる時間だけではなく、プレゼンテーション力や情報のまとめ方、周知の仕方などのスキルも身につけることができます。

これからの建築士・建築士会を担う青年建築士の発表をお楽しみください。



北海道大会（函館）での青年委員会セッション

女性委員会セッション

テーマ

和の空間の魅力を探る ふぁいなる〜これから〜

「魅力ある和の空間ガイドブック（WEB版）」の活用

運　営 ＞ 女性委員会

日　時…10月14日（金） 10:00〜12:00

会　場…あきた芸術劇場ミルハス 地下1階 小ホールB

ご覧いただいたことがあるでしょうか。北海道から沖縄まで総数約190件の和の空間に特化した建物が紹介されたガイドブックを。

連合会女性委員会では、2016年より「和の空間」をテーマに取り組み、『魅力ある和の空間ガイドブック（WEB版）』を2018年9月、同委員会HPに公開しております。その後、2019年に追加修正版を作成し、2022年4月に最終版としてさらに約80件、追加いたしました。

今回は和の空間を紹介していただくこともさることながら、ガイドブックの活用の仕方なども併せて伺うことで、設計活動につなげることはもとより、「和とは」、「和の空間とは」、を考える機会にしていただくとともに、コロナ禍にあって活動することが、士会内部にとどまるのではなく、外部に向けた活動になっていた、というような『魅力ある和の空間ガイドブック』を活用した今後の活動につながる話もお聞きいただけるのではないかと思います。



角間川 旧北島家住宅



角間川 旧本郷家住宅

景観・街中（空き家）まちづくりセッション

テーマ

街中の再生まちづくりと景観

運　営 ＞ 景観・街中（空き家）まちづくり部会

日　時…10月14日（金）10:00～12:00

会　場…にぎわい交流館AU 3階 多目的ホール

景観・街中（空き家）まちづくりの両部会は、ここ数年、全国大会のセッションを連携して開催しています。さいたま大会では空き家の利活用、北海道大会では空き家の適正管理や流通等の事例等、主に空き家の問題を取り上げました。前回の広島大会（東京開催）では、空き家管理の課題に加えて、空き家の調査から派生したエリアマネジメント体制構築の必要性について、さらには歴史まちづくりとも関連しますが、開催地広島から宮島の景観保全に対する取り組み、また、まちづくりの中での景観整備機構の役割の重要性等についての報告が行われ、議論が行われました。また、2021年度のまちづくり会議では、エリアリノベーションが話題となるなど、景観・街中（空き家）まちづくりの課題は、個々の空き家の問題からエリアとしてのまちづくり全般へと、拡大しています。

今回の秋田大会では、埼玉県建築士会大里支部が関わっている歴史的・文化的な施設「七ツ梅酒造」の保存および運営・管理を通したまちづくりの事例。開催地秋田の「公共空間における秋田杉の活用」をテーマとした、秋田駅西口バスターミナルの秋田杉による修景プロジェクトなどの、秋田駅周辺の木質化の状況と景観についての事例。さらに、そのほかの全国のいくつかの事例を通して、街中の再生まちづくりと景観について語り合いたいと思います。



深谷市旧七ツ梅酒造

福祉まちづくりセッション

テーマ

高齢期の住まいの改修ガイドライン等について

運　営 ＞ 福祉まちづくり部会

日　時…10月14日（金）10:00～12:00

会　場…にぎわい交流館AU 4階 研修室1.2

コロナ禍にありながら各地からはZoomを活用した研修・会議・交流等の活発な活動報告が届いていますが、各士会内にとどまらず47地域リーダーにも参加を呼びかけたオンラインセミナーの開催により、情報や知識の共有が全国的に拡大しつつあります。これらの主なテーマは高齢者の住まいと建築・まちのバリアフリー化です。

国土交通省は2019年に「高齢期の健康で快適な暮らしのための住まいの改修ガイドライン」を策定し、以下の4つの目標を示しています。①長く健康に暮らせる住まい、②自立して自分らしく暮らせる住まい、③介護期になっても暮らせる住まい、④次世代に継承できる良質な住まい。これらは住まいのバリアフリー化だけでなく高齢者の生活や住まい全般の問題解決を図ろうとしていることが注目点です。福祉まちづくり部会では、この考え方を学ぼうと、啓発に取り組む高齢者住宅協会の『住まいの提案力UP講座入門編・応用編』の受講を呼びかけ、令和4年3月に9士会のメンバーが合同で受講しました。セッションではその報告とともに今後の展開について、全国の皆さまと話し合おうと考えています。

また、国交省は東京オリンピック・パラリンピックを契機に2021年に「高齢者・障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」を改訂しましたが、その考え方や事例について全国の建築士への啓発活動を進めようと考えています。神奈川士会福祉部会では国交省の担当官を講師にオンラインセミナー開催し、全国からも多くの参加がありました。セッションではこれらの報告とともに今後の展開についても、皆さまと話し合えればと考えています。



高齢期の住まいの改修ガイドライン
（「改修提案の手引き」と「建築設計基準」）

防災まちづくりセッション

テーマ

20年ぶりに改訂された「建築士会の災害対応」を考える

運　営 ＞ 防災まちづくり部会

日　時…10月14日（金）10:00〜12:00

会　場…あきた芸術劇場ミルハス 4階 小ホールA

令和2年度に連合会では「災害対策特別委員会」を設置して、従来の地震災害対応の指針に風水害対策も加えた「地震風水害対応・建築士会事前防災活動指針」を策定している。また、令和3年度に「災害対策特別委員会」は、連合会での常設専門委員会として災害対応の司令塔的な「災害対策委員会」として生まれ変わった。そこで、平成14年策定されてから改訂されなかった、建築士会の災害に取組む基本姿勢と連合会や各士会が災害時に対応すべき行動フローをまとめた「建築士会の災害対応」の全面的な改訂に取り組んでいる。今後、理事会の承認を得て令和4年度内には、施行できるようにしたいと考えている。各士会が発災後、迅速に復旧支援活動に着手できるように、平常時から事前の備えとしての防災まちづくり活動を示した「事前防災活動指針」とともに、この指針の上位計画として災害対応の理念や要綱、行動フローを示した「建築士会の災害対応」が策定されたことで、防災まちづくり部会の役割が、ますます重要になると考えている。

そこで、今回のセッションでは、「建築士会の災害対応」の周知とともに、先導的に各士会が独自に策定した災害対応マニュアルの事例紹介を含めて、改めて災害対応における連合会と各士会の役割とその関係について議論してみたいと考えている。





（左）神奈川県建築士会 防災委員会作成、（右）岡山県建築士会倉敷支部作成

歴史まちづくりセッション　第9回 全国ヘリテージマネージャー大会

テーマ

歴史的建造物と各地域のまちづくり

秋田の歴史まちづくりにかける思い・その取り組み

運　営 ＞ 歴史まちづくり部会
全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会

日　時…10月14日（金）10:00〜12:00

会　場…アトリオン 4階 音楽ホール

秋田県は県北、県央、県南において8つの広域圏に区分され、その広域圏に地域建築士会がおかれています。同じ県内でありながら、藩政時代における隣接地域の結びつきもあり、それぞれの地域性や特徴になっています。

歴史まちづくりにおいても、その特徴を生かしたアプローチで進められています。

県北では重要文化財小坂鉱山事務所、康楽館を核に明治百年通りの整備や近代化産業遺産の保存と活用をとおして取り組む小坂町。平成29年、県内で初めて「大館市歴史的風致維持向上計画」の認定を受け「、未来を紡ぐ物語づくり」を進めている大館市。

県央では秋田公立美術大学を核にNPO法人新屋参画屋が「芸術と文化が薫るまち新屋」を進める秋田市。県南ではいち早く昭和51年に重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）に選定された仙北市角館。平成25年の重伝建選定以来、着実に修理・修景が進む増田地区のある横手市。

それぞれの地域で独自の取り組みがあり、歴史、産業の中で継承されているもの、老朽化し次なる役割を持つことなく解体され、失われたものも少なくありません。

各行政の施策においても、建築士会やヘリテージマネージャーとの関わりはまだ始まったばかりで、まだまだ充分であるとは言えません。

歴史まちづくりセッションが、お互いに共通認識を持ち、歴史的建造物の活用方法や、歴史まちづくりの方向性について話し合い、共働できるきっかけとなることを期待します。



横手市増田重要伝統的建造物群保存地区

木の建築賞

テーマ

第16回木の建築賞（東北大会）

受賞作品の紹介と、受賞者と選考委員が語る木の建築賞

日　時…10月14日（金）10:00〜12:00

会　場…にぎわい交流館AU 2階 展示ホール

昨年度に開催された、第16回木の建築賞（東北大会）の受賞作品の紹介と、受賞者と選考委員のトークセッションを行います。

昨年度から木の建築フォラムと建築士会連合会との共催での大会がスタートしました。大会のメインである二次選考会はリモートで行われましたが、秋田会場と東京会場の2会場を設け、WEB上ではありましたが、選考委員と応募者との活発な議論をすることができました。シンポジウムでは、第16回木の建築大賞受賞者の作品発表を行い、選考過程をはじめ、応募作品や木の建築ついてのトークセッションを行います。

「木の建築賞」は、全国を7地区に分け、「いま、求められる木の建築・活動とは」という呼びかけに、森林・木材・建築にかかわる全国の実践者が応募し、その中から、優秀な建築・活動を顕彰するものです。地域の資源を活かした成果を発表するといった活気ある場である「木の建築賞」の意義や魅力をお伝えするとともに、木の建築賞の活動を全国に広げていきたいと思います。



展示風景



シンポジウム風景

環境部会セッション

テーマ

SDGsと心地よい家づくり SDGs part3

地域に適合した家づくり

運　営 ＞ 環境部会

日　時…10月14日（金）10:00〜12:00

会　場…秋田キャッスルホテル 4階 放光の間 2

建築士はSDGs（持続可能な目標）とどう向き合うか。2019年北海道大会、2021年広島大会で連続的に問うた。広島大会に先駆け47単位士会にSDGsアンケートを実施した。単位士会間の温度差はあったが、SDGsに積極的に取り組む単位士会もあり、連合会のSDGs方針の発信への期待もあった。広島大会では地域とSDGs活動に取り組む単位士会の事例を報告し、建築士は日々の設計活動においてSDGsの達成にどう貢献すべきかを論議し、また、SDGsの17+αとして地域の建築文化の視点の重要性と今後の少子高齢社会への対応の重要性が認識され、連合会としての独自のSDGs発進の意義を強くした。

SDGsのゴール12「つくる責任、つかう責任」は建築に深く関係する。責任と同時に「つくる喜び、つかう喜び」という建築の身体性（建築を取り巻く環境と身体性）を大切にした、建築本来の人間的価値（人間条件）を深める建築行為が必要である。人口減少、空家の増加等深刻な課題を抱え、つくるだけの建築から修繕し、つかい続ける建築への転換が今後の大きな課題である。より良い建築を末永くつかう意義と喜びを確かなものにする建築行為、地域固有の既築住宅の改修による建築文化、住まい方の継承も重要となっている。

一方、高断熱住宅への要請が高まっている。ただ、温熱環境、省エネだけの評価軸で住宅を考えるのではなく、その存在する個々の地域風土、景観、暮らし方、文化、住まい手の身体性から住宅を総合的にとらえたい。また地域の木や土等自然素材を活用した地産地消の住宅づくりは、地域経済と建築の関係性を深め、SDGsゴール15の陸地資源の保全と活用にも貢献できる。

秋田県建築士会は長年、親子体験「気持ちの良い家づくり」プロジェクトを実施し、子どものもつ感性、身体性から生まれる理想の家の姿から多くの学びをしてきている。さらに、全国の建築士は、脱炭素及び異常気象等の厳しい設計条件を見据え、寒冷地、温暖地、山の多い地域、海に面した地域等で、その風土・文化性を生かし地域の素材と技術を生かし、それぞれの歴史の中で、建築と身体性を意識した心地よい住宅づくりを実践してきた。

秋田大会ではSDGsPART3として、連合会SDGs方針案を提示し、その上で脱炭素社会に対応し、「つくる楽しさ、つかう楽しさ」があり、心地よい住宅づくりについて討議する。

木のまちづくりセッション

テーマ

林業とウッドショックと木造建築

運　営 ＞ 木のまちづくり部会

日　時…10月14日（金） 10:00〜12:00

会　場…秋田キャッスルホテル 4階 放光の間 1

木のまちづくり部会は、地域産材を利用した地域型の住宅と中大規模木造建築の推進を二つの柱にさまざまな意見交換を行ってきた。

地域材活用に関してはJAS認証材が重要な課題として認識された。ウッドショックでは輸入材の減少と価格の高騰から国産材への注文が急増したが、長い低迷から急な需要増には対応できないことが明らかになった。それでも国産材を求める要望は強く、地域材の材価は上昇した。木のまちづくり部会では、地域材の高騰は林業を支える意味でよろこばしいと受けとめている。秋田大会では、林業とウッドショックと木造建築を話題にしたい。

住宅について、高いレベルの省エネ基準に対応しにくい気候・風土適応住宅の課題がある。脱炭素社会構築に貢献する木造住宅の推進に伴って発生する社会問題への対応である。

中大規模木造建築の推進は部会の大きな柱である。林業、製材業、流通、プレカット工場、設計、地域の発注者、公共団体、金融業等が連携する取り組みが各地で始まっている。そういう連携の中で設計を担う建築士と施工を担う建築士はどういう技術を養成すべきか議論を重ねる課題である。

その意味で「木の建築賞」が関係してくる。ここで讃えられる建築は単にデザインの良し悪しでなく、新しい地域社会の形成にいかに貢献してくるかが評価のポイントである。木の建築賞の発表会は技術を培う重要な機会である。会場と時間の設定が不分明な現在、どうなるか定かではないが、それに対応し、重要な課題を選んで、有意義な大会のセッションにしたいと思っている。

情報部会セッション

テーマ

ここまでできる、BIMを活用した建築確認申請
〜建築士の働き方をプチ改善しよう〜

運　営 ＞ 情報部会

日　時…10月14日（金） 10:00〜12:00

会　場…にぎわい交流館AU 3階 ミュージック工房1

平成25（2013）年に開催された全国大会しまね大会以降、情報部会では会員建築士の業務環境の向上にむけた情報技術の紹介として、BIMやそれにかかる3次元技術を紹介してきました。

また、令和3年度には国交省補助事業（建築士事務所の設計業務等のIT活用による生産性向上を目的としたBIM活用を図るための講習会開催等に係る事業）にてBIM初心者講習会とBIMフォローアップ・ウィークの2つの事業を実施し、戸建て住宅のBIMモデリングの手順についてテキストと動画で共有しました。あわせて、建築確認におけるBIM活用推進協議会と連携し、BIMソフトウエアで作成したその建築物について、各ソフトウエア上で確認審査図書を作成し、その手順のテキストをまとめました。

あきた大会では、これらの活動の成果を大会に参加する会員と共有します。本事業には、サポート建築士として、全国の会員建築士にも関わって頂きましたので、戸建て住宅等でもBIMを活用し業務環境を向上している「生の声」を届けたいと思います。

また、コロナウィルスによる社会構造の変化やリモートワークの観点から、仕事の中心は今までのように物理的なオフィスに限定されなくなりつつあり、「新しい働く場所」として 様々なオンラインツールを選択する企業が増えています。生産性向上という視点において、これらのコミュニケーションツールを知り活用することができれば、私たちの業務環境はさらに向上すると考えます。

本セッションで、BIMとオンラインツールを学ぶ機会を見つけて、働き方を少し向上してみませんか？

建築士会連合会BIMポータルサイトhttps://kenchikushikai-bim.org/
建築確認におけるBIM活用推進協議会https://www.kakunin-bim.org/



BIM講習会in鹿児島（2022年9月に実践形式とWebを併用して行った）

テーマ

秋田杉と傘型屋根の「ブックコロセウム」

～設計担当者が案内する「国際教養大学図書館の見学」～

担　当 ＞ 秋田県建築士会

日　時…10月14日（金）

会　場…国際教養大学 図書館



説明・案内
野村 朋広氏
㈱環境デザイン研究所
管理建築士・ゼネラルマネージャー

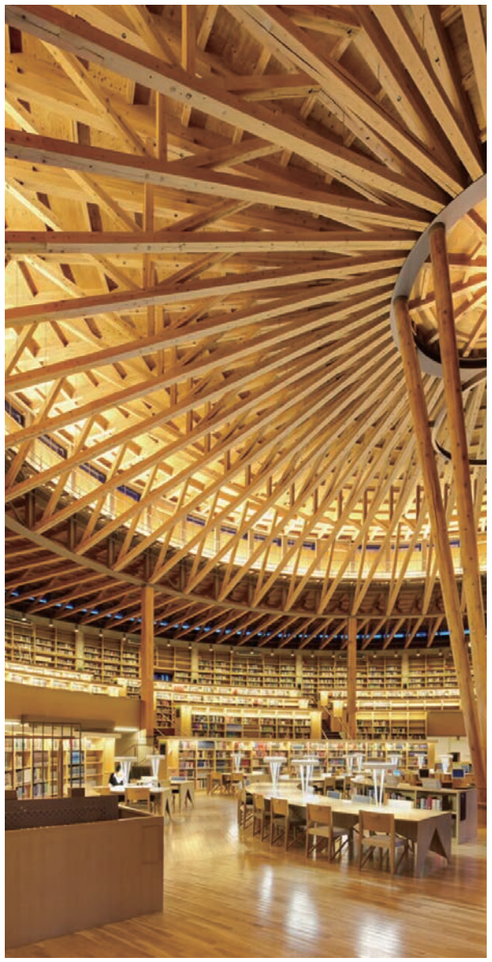
「偏差値は東大並み、就職率100%」の世界標準の大学が秋田のシビックプライド、世界に誇る国際教養大学です。「24時間365日開館」の中嶋記念図書館は、「本のコロセウム」をテーマに「本と人との出会いの場となる劇場空間」として設計されたものであり、「一度は訪れたい美し過ぎる図書館」として高く評価されています。

秋田杉と伝統技術を生かした傘型屋根が織りなす落ち着きと安らぎのある空間は学習意欲を喚起させ、厳しい学習を支えています。設計担当者から、設計コンセプトや秋田杉による建築実現の手法等の説明を受けながら、案内していただきます。

※国際教養大学では、静寂な学修・研究環境を保持するため、大学施設の視察、見学等を制限しております。入学試験や授業等のため、秋田セッション参加者以外の方は学内への立ち入りや見学はできませんので、ご承知置きください。

コース①		コース②	
あきた芸術劇場ミルハス前出発	8:50	あきた芸術劇場ミルハス前出発	9:10
国際教養大学着	9:30	国際教養大学着	9:50
国際教養大学出発	10:10	国際教養大学出発	10:30
あきた芸術劇場ミルハス前着	10:50	あきた芸術劇場ミルハス前着	11:10

コース③		コース④	
あきた芸術劇場ミルハス前出発	9:30	秋田空港出発	10:15
国際教養大学着	10:10	国際教養大学着	10:30
国際教養大学出発	10:50	国際教養大学出発	11:10
あきた芸術劇場ミルハス前着	11:30	あきた芸術劇場ミルハス前着	11:50



（写真提供：国際教養大学）

日　時…10月14日（金）15:00～17:00

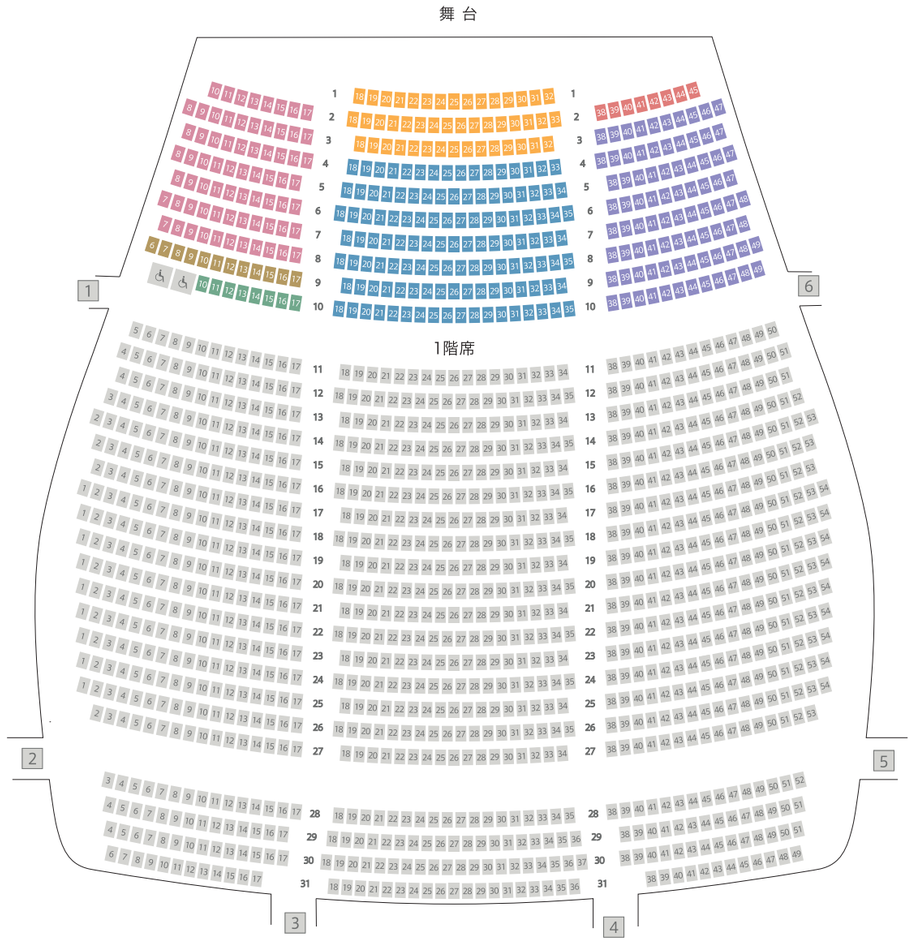
会　場…あきた芸術劇場ミルハス 大ホール・中ホール

～あきた大会 PR動画～

15:00	オープニングセレモニー	なまはげ太鼓
15:20	開会宣言	一般社団法人 秋田県建築士会　副会長　田仲　雅美
	開催地会長挨拶	一般社団法人 秋田県建築士会　会　長　淡路　孝次
	国歌斉唱	
	物故者追悼	
	主催者挨拶	公益社団法人 日本建築士会連合会　会　長　近角　眞一
	来賓祝辞	国土交通大臣　斉藤　鉄夫　様 林野庁長官　織田　央　様 秋田県知事　佐竹　敬久　様 秋田市長　穂積　志　様
	来賓紹介	
	祝電披露	
	表彰式	連合会会長表彰 伝統的技能者表彰 永年勤続職員表彰 建築作品賞表彰 地域実践活動表彰 木の建築賞受賞作品紹介
	大会アピール	公益社団法人 日本建築士会連合会　副会長　古谷　誠章 一般社団法人 秋田県建築士会　会　長　淡路　孝次
	大会旗引継	
	次期開催地会長挨拶	公益社団法人 静岡県建築士会　会　長　飯尾　清三
	閉会挨拶	一般社団法人 秋田県建築士会　副会長　照井　郁人

大会式典会場案内

▶ あきた芸術劇場ミルハス　大ホール



来賓（行政・関係団体・協賛）
表彰者
作品表彰者
主催（連合会・士会長・千木の会）
主管（秋田士会関係）
報道関係者
静岡士会
自由席

▶ 大会式典サテライト会場　中ホール（北海道、東北ブロック）

来賓芳名

国土交通省	国土交通大臣		斉藤　鉄夫
林野庁	林野庁長官		織田　央
行政関係	秋田県知事		佐竹　敬久
	秋田市長		穂積　志
	秋田県議会	議　長	柴田　正敏
	秋田県議会	建設委員長	佐藤　信喜
	秋田県	建設部長	田中　倫英
	秋田県	参事兼建築住宅課長	中野　賢俊
	秋田市	建設部長	楢岡　善治
	秋田市	都市整備部長	後藤　浩基
	秋田市	観光文化スポーツ部長	納谷　信広
	能代市	市　長	齊藤　滋宣
	横手市	市　長	高橋　大
	大館市	市　長	福原　淳嗣
	男鹿市	市　長	菅原　広二
	湯沢市	市　長	佐藤　一夫
	鹿角市	市　長	関　厚
	由利本荘市	市　長	湊　貴信
	潟上市	市　長	鈴木　雄大
	大仙市	市　長	老松　博行
	北秋田市	市　長	津谷　永光
	にかほ市	市　長	市川　雄次
	仙北市	市　長	田口　知明
	小坂町	町　長	細越　満
	上小阿仁村	村　長	小林　悦次
	藤里町	町　長	佐々木　文明
	三種町	町　長	田川　政幸
	八峰町	町　長	森田　新一郎
	五城目町	町　長	渡邉　彦兵衛
	八郎潟町	町　長	畠山　菊夫
	井川町	町　長	齋藤　多聞
	大潟村	村　長	髙橋　浩人
	美郷町	町　長	松田　知己
	羽後町	町　長	安藤　豊
	東成瀬村	村　長	備前　博和

来賓芳名

関係団体

(公財)建築技術教育普及センター	理事長	井上　勝徳
(公財)建築技術教育普及センター	専務理事	林田　康孝
(一財)建築行政情報センター	理事長	後藤　隆之
(一財)建築行政情報センター	専務理事	木下　一也
(一社)建築設備技術者協会	会　長	赤司　泰義
(一社)建築設備技術者協会	参　与	山下　浩一
(一財)高齢者住宅財団	理事長	加藤　利男
(一財)高齢者住宅財団	専務理事	小川　陵介
(一財)住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター	理事長	村上　周三
(一財)住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター	専務理事	金井　昭典
(一財)住宅生産振興財団	会　長	那珂　正
(一財)住宅生産振興財団	専務理事	釜谷　智弘
(一社)住宅生産団体連合会	会　長	芳井　敬一
(一社)住宅生産団体連合会	専務理事	平松　幹朗
住宅保証機構(株)	代表取締役社長	小川　富由
(一財)住宅保証支援機構	理事長	佐々木　宏
(一財)住宅保証支援機構	専務理事	臼井　浩一
(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター	理事長	杉藤　崇
(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター	専務理事	須藤　哲夫
(一社)全国建設業協会	会　長	奥村　太加典
(公社)全国市街地再開発協会	理事長	大村　謙二郎
(公社)全国市街地再開発協会	専務理事	西尾　信次
(一社)全日本建築士会	会　長	上岡　秀休
(一社)日本建設業連合会	会　長	宮本　洋一
(一社)日本建設業連合会	事務総長(代表理事)	山本　徳治
(一社)日本建設業連合会	専務理事	上田　洋平
(公社)日本建築家協会	会　長	佐藤　尚巳
(公社)日本建築家協会	副会長	森　暢郎
(公社)日本建築家協会	専務理事	筒井　信也
(一社)日本建築学会	会　長	田辺　新一
(一社)日本建築学会	専務理事	小野寺　篤
(一社)日本建築構造技術者協会	会　長	常木　康弘
(一社)日本建築構造技術者協会	専務理事	嵐山　正樹
(一社)日本建築士事務所協会連合会	会　長	児玉　耕二
(一社)日本建築士事務所協会連合会	専務理事	居谷　献弥
(株)日本建築住宅センター	代表取締役会長	井上　俊之
(株)日本建築住宅センター	代表取締役社長	合田　純一
(公社)日本建築積算協会	代表理事　会長	浦江　真人
(公社)日本建築積算協会	専務理事	前田　伸子
(一財)日本建築設備・昇降機センター	理事長	坂本　努
(一財)日本建築設備・昇降機センター	専務理事	内田　純夫
(一財)日本建築センター	理事長	橋本　公博
(一財)日本建築センター	専務理事	香山　幹
(一財)日本建築防災協会	理事長	坂本　功
(一財)日本建築防災協会	専務理事	石﨑　和志
(公財)日本住宅・木材技術センター	理事長	古久保　英嗣
(公財)日本住宅・木材技術センター	専務理事	金子　弘
(一社)日本設備設計事務所協会連合会	会　長	髙木　俊幸
(一社)日本設備設計事務所協会連合会	専務理事	大竹　亮
(一社)日本伝統建築技術保存会	会　長	鳥羽瀬　公二
(一社)プレハブ建築協会	会　長	堀内　容介
(一社)プレハブ建築協会	専務理事	平松　幹朗
(一財)ベターリビング	理事長	眞鍋　純
(一財)ベターリビング	常務理事	長崎　卓
(公社)ロングライフビル推進協会	会　長	蓮輪　賢治
(公社)ロングライフビル推進協会	専務理事	田中　淳
田島ルーフィング(株)	代表取締役社長	松原　幸雄

関係団体(秋田県)

(一財)秋田県建築住宅センター	理事長	髙橋　行文
(一社)秋田県建築士事務所協会	会　長	村田　良太
(公社)秋田県宅地建物取引業協会	会　長	赤田　英博
(公社)全日本不動産協会秋田県本部	本部長	目黒　和磨
(一社)秋田県建設業協会	会　長	北林　一成
秋田県建設技能組合連合会	会　長	小坂　忠美
秋田建築労働組合	組合長	照井　昇
秋田県木材産業協同組合連合会	理事長	大坂　真一
(一社)日本建築家協会 東北支部 秋田地域会	東北支部副支部長・地域会長	西方　里見
(一社)秋田県設備設計事務所協会	会　長	岸　和章

報道関係

日刊建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社、建通新聞社、日本住宅新聞社、新建新聞社

表彰者

令和4年度 連合会会長表彰

北海道	大武　武博	庵　敏幸	井上　勝己	工藤　美智子
	飛鷹　嘉弘			
青森	小山内　誠	高村　健悦		
岩手	田老　雄一	谷藤　一彦	菅原　紀昭	
秋田	加藤　一成	菅原　文雄	早山　政美	
山形	髙橋　政広	荒木　良弘		
福島	菅原　正晴	田浦　英典	渡部　喜也	
茨城	根本　勝義	鈴木　啓之	小貫　廣利	
栃木	竹内　幹夫	髙内　良介	大金　清	
群馬	長谷川　浩子	河本　榮一	田中　信子	
埼玉	松野　輝雄	山田　鉄也		
千葉	山中　一郎	田村　保人	加藤　仁	
東京	木村　勇治	八田　創	森田　美紀	大坂　岳志
	加藤　陽介	蕪木　孝典	笠井　香澄	
神奈川	澤田　晃一	井上　憲二	辻谷　忠臣	松尾　稜威
山梨	利根川　康夫	渡辺　善文	若狭　美穂子	
長野	井出　正臣	臼田　幸夫	窪寺　弘行	
新潟	宮村　政吉	原田　久雄	山岸　栄一	
静岡	鈴木　純哉			
愛知	伊豫田　健児	尾関　浩	杉原　尚子	杉浦　盛夫
	三宅　和彦			
岐阜	松井　博幸	和仁　正明		
三重	佐野　功児	三谷　久夫		
富山	小泉　美江子	土倉　範行	長島　修	
石川	奥下　建一	北村　清成	宮本　良和	
福井	脇本　淳子			
滋賀	木下　幸玉			
京都	金森　保則	椿森　昌史	大村　利和	
大阪	桑原　宏明	田鍋　稔	荻窪　伸彦	髙原　浩之
兵庫	戎　孝之	野上　伸二	永井　英三	
奈良	峠　政和	上平　久居		
和歌山	藍畑　春雄	中村　静男		
鳥取	由宇　正実	戸田　雅之		
島根	足立　正智	常松　光政	尾川　隆康	
岡山	山名　千代	谷岡　龍哉	森下　真典	
広島	松本　浩一	篠部　裕		
山口	今井　徹也	河野　良輔	藤井　孝造	
徳島	手城　司	徳長　正俊	賀治　隆志	
香川	木村　浩司	池田　裕美	藤田　薫	
愛媛	花岡　直樹	小原　文子	松平　定真	
高知	前田　佳男	石元　信明		
福岡	上村　公仁隆	内野　英雄	廣田　栄作	
佐賀	城島　正信	江島　信行		
長崎	荒木　由美	上山　信宏		
熊本	生田　健一			
大分	後藤　悟	渡邉　賢一	竹尾　憲和	
宮崎	椿　達夫	岩浦　厚信		
鹿児島	中留　和美	下園　政喜	山内　信清	
沖縄	伊東　亮	前里　悦子		

令和4年度 伝統的技能者表彰

北海道	加藤　和紀	富山	髙見　雅志	高知	芝　利忠
宮城	伊藤　正男	福井	畑　宣雄	福岡	髙野　政則
秋田	齋藤　鐵雄	大阪	大谷　哲秀	熊本	鳩野　喜一
群馬	鈴木　始郎	和歌山	福山　藤次	大分	佐伯　直
神奈川	鈴木　篤	鳥取	池内　博人	鹿児島	濵﨑　博文
新潟	成田　一郎	岡山	佐田　時信		
愛知	近藤　勝也	広島	河野　和夫		

70周年記念全国大会 永年勤続職員表彰

北海道	秋吉　利香	池田　美穂		
青森	風晴　智順	福井　節子	中村 美穂子	
山形	三浦　秋夫			
福島	岸波　徹			
千葉	渡邉　昌文	黒澤　豊		
東京	内野　幸雄	荻谷　哲	遠藤　智之	佐竹 紀代美　梅津　洋佑
山梨	鈴木　勇次	河西　恵梨		
新潟	宮沢　順子	本田　友美		
静岡	山本　都			
愛知	大木　恵子			
三重	大西　俊隆	星山 久美子		
福井	小林　淑美			
京都	進藤　有紀			
兵庫	中島　修	桂　美紀子		
島根	松島　純代			
愛媛	大西　勝秀			
福岡	末永　美穂			
佐賀	光武　啓子			
長崎	富永　斉			
大分	穴井　輔嘉			
宮崎	海老原 邦子			

表彰者

第2回 建築作品賞

		作品名
大賞・優秀賞	設計担当者　中村　拓志（東京建築士会）	風突のケアハウス
奨　励　賞	設計担当者　竹原　義二（大阪府建築士会）	小郡幼稚園
奨　励　賞	設計担当者　江副　敏史（大阪府建築士会）	枚方市総合文化芸術センター
奨　励　賞	設計担当者　松山　将勝（福岡県建築士会）	みんなの診療所
（1−2　教育・文化・医療・福祉系の建物）		
優　秀　賞	設計担当者　古谷　俊一（東京建築士会）	スイシャハウス・スイシャオフィス
奨　励　賞	設計担当者　亀崎　義仁（沖縄県建築士会）	カメハウス
U40建築賞	設計担当者　佐藤　達保（大阪府建築士会）	台地のFORTE
U40建築賞	設計担当者　野村　直毅（大阪府建築士会）	京都・古家を取り込む増築
（1−1　居住・生活空間系の建物）		
優　秀　賞	設計担当者　納谷　学（東京建築士会）	尼崎パーキングエリア
奨　励　賞	設計担当者　安原　幹（東京建築士会）	大船渡消防署住田分署
	設計担当者　日野　雅司（東京建築士会）	
	設計担当者　栃澤　麻利（東京建築士会）	
	設計担当者　佐藤　淳（東京建築士会）	
奨　励　賞	設計担当者　乾　久美子（東京建築士会）	延岡駅周辺整備プロジェクト
奨　励　賞	設計担当者　松本　洋平（東京建築士会）	京丹波町役場 新庁舎
（1−3　商業・業務・交通系・宿泊・その他の建物）		
奨励賞／U40建築賞	設計担当者　烏野　良子（京都府建築士会）	丹生川の古民家
奨　励　賞	設計担当者　慶野　正司（栃木県建築士会）	吉田村Village
（2　リノベーションによる建物）		

表彰受賞者紹介

第16回 木の建築賞

木の建築大賞	名　　称：道の駅ふたつい 応募責任者：西方里見／設計チーム木協同組合
木の活動賞	名　　称：鶴岡市立朝日中学校 応募責任者：後藤章子／鶴岡市教育委員会管理課施設係
木の建築賞 （選考委員特別賞・メンバーズチョイス賞）	名　　称：東松島市立宮野森小学校 応募責任者：工藤和美／東洋大学・シーラカンスK&H株式会社
木の建築賞 （選考委員特別賞）	名　　称：大槌町文化交流センター「おしゃっち」 応募責任者：永松航介／前田建設工業株式会社
木の建築賞 （木の住宅賞）	名　　称：川谷のアトリエ住宅 応募責任者：辺見美津男／有限会社辺見設計
木の建築賞 （ムクファースト崇秀記念賞）	名　　称：英照院本堂・山門 応募責任者：越智隆浩／有限会社DXE一級建築士事務所
木の建築賞 （ウッドフューチャー賞）	名　　称：美郷アトリエ 応募責任者：佐藤欣裕／有限会社もるくす建築社
木の建築賞 （建築士会 東北ブロック会賞）	名　　称：ノーザンステーションゲート秋田 応募責任者：木村英明／東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社
木の建築賞	名　　称：陸前高田市立気仙小学校 応募責任者：土屋辰之助／株式会社土屋辰之助アトリエ
木の建築賞	名　　称：道の駅たのはた 思惟の風 応募責任者：古谷誠章／ナスカ一級建築士事務所
木の建築賞	名　　称：はじまりの美術館 応募責任者：竹原義二／有限会社無有建築工房

第12回 高校生の建築甲子園

優　勝・まちづくり委員長特別賞	京都府／舞鶴工業高等専門学校 融解と浸透
準優勝	兵庫県／明石工業高等専門学校 水紋 〜響き重なるコミュニティの雫〜
ベスト8・審査委員長特別賞	青森県／青森県立八戸工業高等学校 伝統をのせた舟は時を流れて
ベスト8・教育・事業本委員長特別賞	新潟県／新潟県立新津工業高等学校 SENZIEの森（忘れられた暮らしのあり方先人たちが創ってきた暮らしの知恵と文化）
ベスト8・青年委員長特別賞	富山県／富山県立富山工業高等学校 未来を創る 〜減築で生まれるセントラルパーク〜
ベスト8・女性委員長特別賞	香川県／香川県立高松工芸高等学校 風が流れ、文化の流れを受け継ぐ
ベスト8・入賞	大阪府／堺市立堺高等学校 生野区未来を創造できる地区センター「IKUNOMIRAI」
ベスト8・入賞	佐賀県／佐賀県立嬉野高等学校 塩田校舎 ときノ廊下　古き建物と新しき建物の融合

記念展示

日　時…10月14日（金） 10:00〜16:00

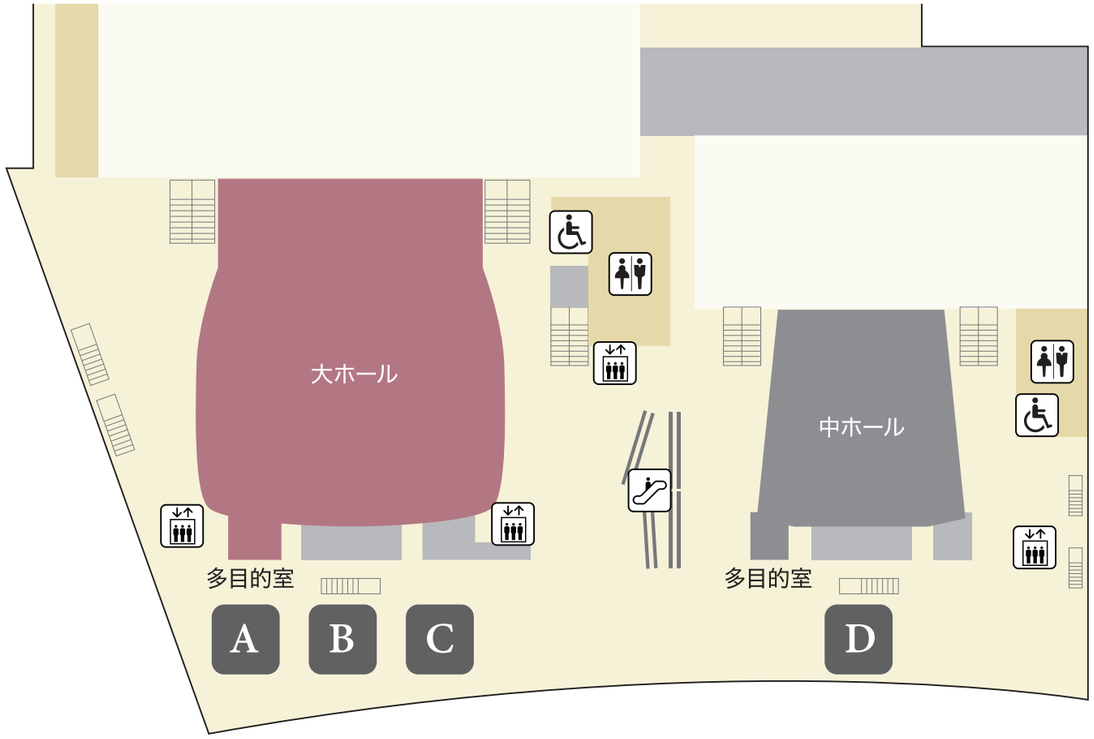
会　場…あきた芸術劇場ミルハス 3階 ホワイエ

A 第2回 日本建築士会連合会 建築作品賞入賞作品

B 女性委員会 全国女性建築士連絡協議会 活動紹介

C （一社）秋田県建築士会 活動紹介

D 「伝統的技能者表彰者」仕事風景紹介



企業出展

日　時…10月14日（金） 10:00〜16:00

会　場…あきた芸術劇場ミルハス 1階 エントランスホール

01 上野株式会社
内装材の展示紹介、3Dインテリアパース実演

02 三和シャッター工業株式会社
防水・耐風商品紹介、LEDサイン他の紹介

03 株式会社アイネックス
空間コーディネート事例・手法の展示

04 福井コンピュータアーキテクト株式会社
BIMソフト紹介

05 秋田県木材産業協同組合連合会
秋田県産材で加工した木製品の紹介

06 日建学院／株式会社建築資材研究社
講座、出版商品、建築ソフトの紹介

07 クマリフト株式会社
ダムウェーター他、関連品の紹介

08 オートデスク株式会社
BIMソフト紹介

09 グラフィソフトジャパン株式会社
BIMソフト紹介

10 株式会社インターセントラル
放射冷暖房システム（床・天井）の紹介

11 株式会社LIXIL
製品展示・自動設計システムの紹介

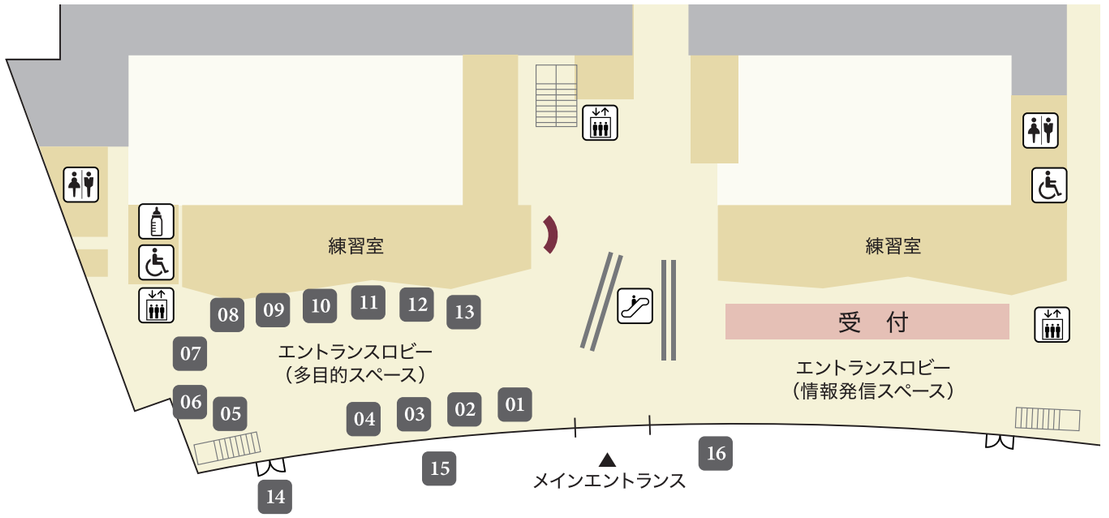
12 開發株式会社
防水関連商品の紹介

13 エーアンドエー株式会社
BIMソフト紹介

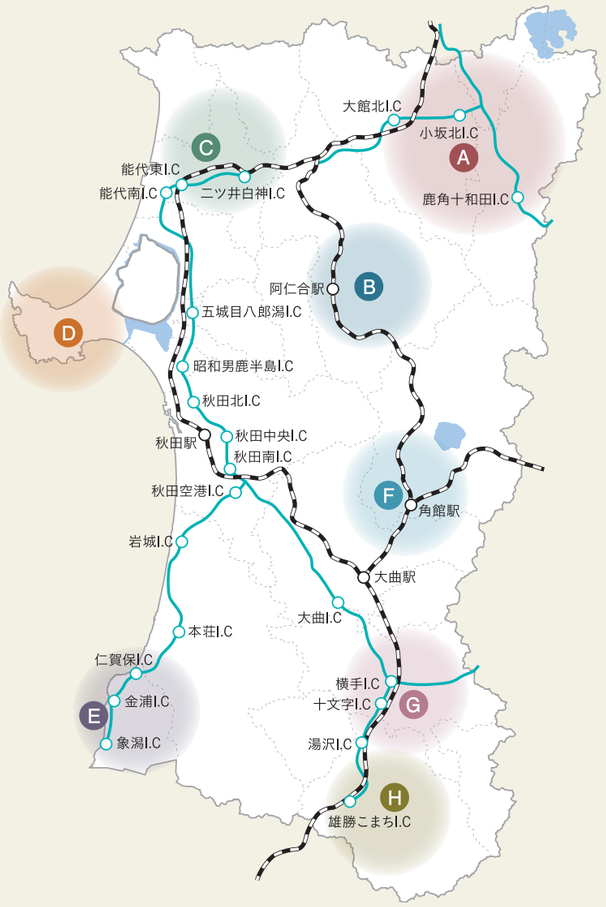
14 大阪ガスケミカル株式会社
木材保護塗料、シロアリ防除剤の紹介

15 山二建設資材株式会社
秋田杉加工商品(準不燃内装・手摺)、RC外断熱工法の紹介

16 株式会社ナリコー
脱炭素に配慮した建材の紹介



地域交流見学会
excursion



Aコース（1泊2日）

世界文化遺産と十和田湖・秋田犬・歴史的建物を巡る

十和田ホテル（宿泊）
昭和15年開催予定だった東京オリンピックの外国人観光客の為に国の要請を受け秋田県が昭和11年着工し、日本各地の木材を使用して秋田、青森、岩手の3県から80名の宮大工が集められ昭和14年完成した文化財的価値が高い建築物です。

大館樹海ドーム（ニプロハチ公ドーム）
伊東豊雄の設計による国内最大級の木造ドームです。屋根架構は樹齢60年以上、直径20cm以上の秋田杉を約25,000本使用した大断面集成材アーチ構造となっております。屋根は強度に優れ、透光率が高いテフロンの二重膜構造で、内膜と外膜の間が約20cm空いていて、冬期は機材の排熱を通じて屋根を暖め、さらに屋根の勾配を利用して自然に雪を落とす仕組みとなっています。大館の自然に融け合う柔らかで優美な曲線を持つデザインで、美術及び芸術部門の賞を受賞しています。

国登録有形文化財 桜櫓館
桜櫓館は大館町長であった桜場文蔵の邸宅で昭和8（1933）年建築、昭和55（1980）年に曳家で移築されています。大工棟梁出身の文蔵は、自ら設計者や職人の選定に関り、経費を惜しまず、当時の建築技術の粋を結集することに努めたと伝えられています。巨大な木材が随所に使われており、建具や天井の意匠も多様です。令和2年に限界耐力計算によりほとんど姿を変えずに耐震改修工事をおこなっています。また、大館市の歴史まちづくりの中核施設のひとつとなっています。

大館市立 鳥潟会館
鳥潟家は慶長年間のころから続く旧家です。主屋は1760年代（江戸期）の建築となっており、第17代の京都大学助教授で医学博士鳥潟隆三によって昭和11（1936）年邸宅の曳家増改築と庭園の拡張が行われました。増改築部分は京風の意匠を取り入れた数寄屋となっており、約5年の歳月を要して延べ1,000人を超える京都の大工・左官等の手によって整備されました。庭造りには京都から造園師を招き、庭石に京都の鞍馬石を使うなど、京風の情緒豊かな庭園となっています。
東北地方有数の文化遺産といわれており、建造物は秋田県指定有形文化財に、庭園は秋田県指定名称（記念物）に指定されています。

国重要文化財 小坂鉱山事務所
明治38（1905）年に建設。明治期から大正期にかけて鉱産額日本一を誇った小坂町のシンボル。近代化産業遺産として認定（経済産業大臣）木造3階建て、ルネッサンス風の華麗な外観。正面中央のイスラム風といわれるバルコニー付きポーチ。ルネッサンス風の基調となるのは、屋根の3つのドーマーウィンドー（飾り窓）と、外観に連続する三角形のペディメント（窓飾り）付き窓。玄関ホールを入ると見事な「らせん階段」が1階から3階まで通じています。柱には一本の秋田杉が使用されおり、手摺りは緩やかで美しい曲線を描いています。


十和田ホテル


桜櫓館


鉱山事務所

10月15日（土）　8:00〜17:00

8:00 秋田市文化創造館前
↓
秋田北I.C
↓
二ツ井白神I.C
↓
9:25 道の駅ふたつい（休憩）
↓
10:05 伊勢堂岱遺跡（見学）
↓
伊勢堂岱I.C
↓
大館北I.C
↓
11:40 ニプロハチ公樹海ドーム（視察見学）
↓
12:20 桜櫓館
（昼食（花善 彩華鶏めし弁当）・施設見学及び秋田犬撮影）
↓
14:30 大館八幡神社（視察見学）
↓
15:10 鳥潟会館（視察見学）
↓
大館北I.C
↓
小坂北I.C
↓
17:00 十和田湖畔（十和田ホテル泊）
※到着後、館内施設のご案内を致します。

10月16日（日）　8:00〜15:30

8:00 ホテル
↓
8:10 発荷峠（休憩）
↓
9:00 小坂町康楽館（視察見学）
↓
9:35 小坂町鉱山事務所（見学）
↓
10:10 小坂鉄道レールパーク（見学）
↓
11:20 大湯ストーンサークル（見学）
↓
12:20 鹿角観光物産館あんとらあ
（昼食・ショッピング）
↓
鹿角十和田I.C
↓
浪岡I.C
↓
14:55 青森空港（下車）
↓
15:30 新青森駅

募集定員	30名
お食事	1日目 昼食・夕食 2日目 朝食・昼食
お一人当たり旅行代金	
2名1室利用	49,000円
3名1室利用	47,000円
4名1室利用	45,000円

・客室タイプ（和室・洋室）の指定は出来ません。
・お申込み多数の場合は、抽選となります。
・お申込みは2名様以上となります。
・お部屋割り等について事前にお申込者様へお電話にてご相談させていただく場合があります。

Bコース（9時間）

秋田内陸線縦貫鉄道でゆく・紅葉の大自然とマタギの里探訪

秋田内陸縦貫鉄道

昭和59年に旧国鉄阿仁合線、角館線と建設線を引き継いで一体運営するために設立。昭和61年に既開業区間を秋田内陸北線、秋田内陸南線として暫定開業。平成元年に鷹巣から角館までの全線開業を果たしました。車窓から見える四季折々の山々は今も古と繋がっています。
前田南駅は、アニメ映画『君の名は。』で糸守町最寄として登場する駅のモデルでは？と話題になりました。

森吉山ゴンドラ山歩（森吉山I,454m）

森吉山はお花の百名山として知られ、季節の表情が色濃く表れる季節色豊かな山です。山頂からは男鹿半島や白神山地、田沢湖をはじめ、天気が良ければ鳥海山まで望むことができます。春から夏は高山植物が多彩な色や形の花を咲かせ、山腹はブナ林が広がり秋には一面に広がる広葉樹が赤や黄色に染まり、冬には一面に広がる銀世界に樹氷が姿を見せます。

異人館（平成2年3月19日国重要文化財指定）

明治15（1882）年鉱山技師アドルフ・メッケルの設計によるものと言われており、当時は阿仁鉱山外国人官舎及び事務所として使われていました。のちの洋式建物の象徴といわれる鹿鳴館やニコライ堂より先駆けて建てられており、当時の日本人にカルチャーショックを与えたと言われています。

10月15日（土）　8:00〜17:00

8:00 秋田市文化創造館前
↓
秋田北I.C
↓
五城目八郎潟I.C
↓
9:20 道の駅上小阿仁（休憩）
↓
10:40 森吉山山麓
↓（ゴンドラ利用）
11:25 森吉山山頂（散策）
↓（ゴンドラ利用）
12:30 森吉山山麓
↓
12:55 阿仁異人館・伝承館（見学）
↓
13:35 阿仁合駅
（秋田内陸縦貫鉄道 貸切車両車内にてお弁当）
↓
15:15 JR角館駅（下車）
↓
16:20 秋田空港（下車）
↓
17:00 秋田駅東口

お一人当たり旅行代金…15,000円

お食事…昼食

昼食時間が遅いため、軽食として「おにぎり」をご準備いたします。


紅葉の渓谷を渡る内陸線


秋の森吉山　空中散歩


異人館

Cコース（7時間40分）

木都能代と研究拠点を巡る

秋田県立大学木材高度加工研究所

大学に属する機関としては唯一「木材」を冠する専門教育・研究機関であり、「森林資源を活用した持続的な資源循環型社会の形成」という目標のもと、最先端の研究および教育を行っています。主に本館棟、研究棟、南北試験棟の建物があり、最先端の実験施設を見学する事ができます。

国登録重要有形文化財　旧料亭「金勇」

明治23年に建てられた旧館が火災で焼失後、昭和12年に現在の新館が建てられました。天然秋田杉の良材を余すことなく使用し、座敷ごとに貴重な天井板、床柱、建具の組子等に特色が有り、当時の職人の技術が施されています。能代唯一の歴史的建築物です。

道の駅ふたつい

平成30年のオープン以来、年間100万人の訪問者がある人気の施設です。空間を構成する木材は規格流通材を使用しており、特にエントランスのアーチトラスは見応えがあります。
第16回木の建築賞に於いて「木の建築大賞」を受賞しています。

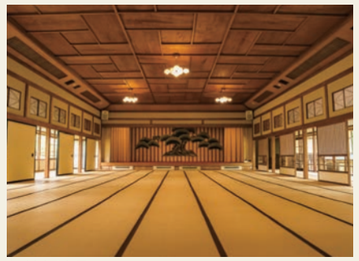
10月15日（土）　8:20〜16:00

8:20 秋田市文化創造館前
↓
秋田北I.C
↓
能代南I.C
↓
9:40 秋田県立大学木材高度加工研究所（視察見学）
↓
11:15 能代市旧料亭金勇（見学・昼食）
↓
能代東I.C
↓
二ツ井白神I.C
↓
12:55 きみまち阪県立公園（散策）
↓
13:30 道の駅ふたつい（視察見学・ショッピング）
↓
二ツ井白神I.C
↓
秋田中央I.C
↓
15:20 秋田駅東口（下車）
↓
16:00 秋田空港

お一人当たり旅行代金…11,000円

お食事…昼食


木材高度加工研究所


旧料亭「金勇」


道の駅ふたつい

Dコース（8時間20分）

日本海の水平線と世界文化遺産「なまはげ」巡り

男鹿真山伝承館

明治40（1907）年、男鹿中の島田に建てられた住宅で、平成7年に寄贈され国の有形登録文化財となっている中門造形式の農家建築です。中門は二階になっており、屋根は小型の破風を設けた入母屋造です。男鹿地域の民家の特色を残した貴重な遺構です。現在はなまはげにまつわる資料展示もあり昔の暮らしを目で感じられます。また、大晦日のなまはげ行事の再現も行われ、家中を暴れまわるなまはげを間近に見ることができ、その迫力を感じられます。

なまはげ館

真山伝承館に隣接しており、なまはげの歴史資料などを展示しています。男鹿市内各地で実際に使われていた110体＆40枚のなまはげが勢ぞろいしていて圧巻の迫力です。外壁は男鹿産出の寒風石による石積み造りとなっており、内装には秋田杉が使用されています。

入道崎

男鹿半島北西端に位置し、日本海に突出する岬で北緯40度線上にあります。景勝地として名高く、見るものの心を奪う緑の大地、青い海、空の絶妙なコントラストを生み出しています。昼食はパノラマ上に広がる海を見ながら、男鹿でとれた新鮮な魚介類の入った郷土料理である石焼鍋をご堪能ください。

旧森長旅館

JR男鹿駅前に位置する旅館で昭和9年（1934）に建てられた洋風建築物です。本館は木造（一部モルタル）二階建て寄棟作りになっており、国の登録有形文化財に指定されています。現在は廃業していますがリノベーションをして新しく生まれ変わる予定です。

10月15日（土）　8:20〜16:40

8:20 秋田市文化創造館前
↓
9:00 男鹿市総合案内所（休憩）
↓
10:00 なまはげ館・男鹿真山伝承館（見学）
↓
11:35 入道崎（散策・昼食）
↓
13:20 寒風山展望台（散策）
↓
14:10 旧森長旅館（視察見学）
↓
14:30 道の駅おがオガーレ（ショッピング）
↓
昭和男鹿半島I.C
↓
秋田中央I.C
↓
16:00 秋田駅東口（下車）
↓
16:40 秋田空港

お一人当たり旅行代金…11,000円

お食事…昼食


男鹿真山伝承館


なまはげ館


入道崎

Eコース（7時間40分）

国の登録有形文化財を活用した事例に触れる

鳥海山木のおもちゃ美術館

昭和28・29年の建築。明治末期から大正期の校舎様式を引き継いだ全国的にも希少な建物です。平成24年「登録有形文化財」にも登録され、教室棟3棟および体育館棟が並列する端正なたたずまいの木造平屋建校舎です。旧鮎川中学校・旧鮎川小学校として歴史を歩み、平成30年に「多世代交流・木育体験の場」としてリノベーションオープンした施設です。

蚶満寺

この地は松尾芭蕉も訪れた奥の細道の景勝地の一つです。かつては小島の浮かぶ入江でありましたが、1804年の大地震により隆起し干潟となりやがて開田により現在の景観となりました。「蚶満寺」は神功皇后伝承や七不思議伝説等に包まれた曹洞宗寺院です。木造切妻造の八脚門（江戸中期建立か）の山門には仁王像が安置され瓦には菊の紋章が用いられています。（閑院宮家祈願所となったため）

白瀬南極探検隊記念館

にかほ市出身の白瀬矗の明治末期の「南極探検隊」の偉業を記念した建物です。中央の円形の池に配置された円錐形の形態は「南極の氷山を暗示」したものであり白瀬南極探検隊の厳しく崇高な偉業を示しております。それをとり囲むドーナツ形の形態は探検隊全員のチームワークを表現し、地球・太陽系の宇宙をも暗示しています。建築家 黒川紀章による設計です。

10月15日（土）　8:30〜16:10

8:30 秋田市文化創造館前
↓
岩城I.C
↓
本荘I.C
↓
9:30 鳥海山木のおもちゃ美術館（見学）
↓
本荘I.C
↓
仁賀保I.C
↓
10:40 白瀬南極探検隊記念館（見学）
↓
11:50 蚶満寺（見学）
↓
12:35 道の駅象潟ねむの丘（昼食・ショッピング）
↓
金浦I.C
↓
秋田空港I.C
↓
15:35 秋田空港（下車）
↓
16:10 秋田駅東口

お一人当たり旅行代金…11,000円

お食事…昼食


木のおもちゃ美術館


白瀬南極探検隊記念館


蚶満寺

Fコース（8時間40分）

「みちのく小京都 角館」
～江戸時代の武家町さんぽ～

門脇木材
「木は全部使いきる」をスローガンに製材業界をリードする株式会社門脇木材の県内初の無人生産ライン「ノーマンツインバンドソー」を見学いただきます。丸太が製品になるまで最新の技術の集約をご覧ください。

角館の武家屋敷通り
江戸時代に栄えみちのくの小京都と呼ばれる角館、春には桜の名所としても名高く、特に武家屋敷通りは火除けと呼ばれる広場を中心に北側は武家屋敷が並ぶ「内町」、南側は町人や商人が住む「外町」に分かれ400年後の今もその成り立ちを残したままです。

安藤醸造本店
嘉永6（1853）年に始まり味噌・醤油・漬物の製造を代々伝え伝統の味を守り続ける老舗、秋田土産は勿論。1883年に再建された煉瓦蔵や蔵座敷、黒漆喰磨きは、日本有数の職人もうなるほど仙北市の指定有形文化財にも指定された名所です。

石黒家
角館武家屋敷の中で子孫家族が住み続ける唯一のお屋敷です。お部屋に上がり内部を見学することも出来、スタッフから屋敷の特徴などの説明も受けることもできます。また建物だけでなく武具甲冑類や古文書雪国の生活道具などの展示もあり武家の時代に想いを馳せながら見学いただけるスポットとなっています。

10月15日（土）　8:20～17:00

8:20 秋田市文化創造館前
↓
9:15 門脇木材協和工場（視察見学）
↓
10:25 安藤醸造北浦本舗（休憩・ショッピング）
↓
11:05 株式会社安藤醸造本店（視察見学）
↓
11:45 料理稲穂（昼食）
↓
13:00 角館町内（石黒家～角館樺細工伝承館～各自ショッピング）
※かくのだて歴史案内人のご案内
↓
15:20 角館駅前（下車）
↓
16:25 秋田空港（下車）
↓
17:00 秋田駅東口

お一人当たり旅行代金…11,000円

お食事…昼食


門脇木材協和工場


角館武家屋敷通り


安藤醸造本店　煉瓦蔵

Gコース（8時間50分）

商家のまちなみと内蔵の探訪

横手市増田
横手市増田は江戸時代から商人の町として栄え、明治から昭和30年代にかけて建てられた商家、家屋が町並みを形成し、平成25年に重要伝統的建造物群保存地区選定されました。

日の丸醸造本社
増田唯一の造り酒屋で明治41年建造された座敷蔵。輝く漆塗りの柱と白漆喰壁が気品と風格を醸し出しています。

重要文化財　旧松浦家住宅
主屋は明治22年、後方の座敷蔵は明治36年の建築で，主屋から後方にのばすサヤと呼ばれる覆屋で座敷蔵を覆い、主屋と一体的な構成となっています。伝建地区内で明治期に遡るこれら３棟が完存する唯一の遺例として貴重な建物です。全国大会のために特別公開していただきます。

重要文化財　佐藤家住宅
蔵そのものが母屋で、通りに面しており増田の町家と大きく異なります。姿を露出している内蔵はその通りから望むことができます。現在、12代目当主　佐藤又六氏と共に、明治4年の竣工の際、アメリカから輸入された柱時計が由緒ある蔵の空間の時を刻み続けています。

横手市指定文化財　旧石田理吉家
木造三階建の主屋と主屋東側に繋がる内蔵。木造総三階建の主屋は、六代・理吉氏によって昭和12年に上棟された戦前の建物で、5寸角の通し柱9本によって支持された垂直性が強調された外観です。

10月15日（土）　8:30～17:20

8:30 秋田市文化創造館前
↓
秋田南I.C
↓
十文字I.C
↓
9:55 増田町（日の丸醸造本社～旧松浦家住宅（非公開）～佐藤又六家～旧石平金物店～旧石田理吉家など視察見学）
※ボランティアガイドのご案内
↓
12:10 旧勇駒酒造旬菜みそ茶屋くらを（視察見学・昼食・ショッピング）
↓
13:30 横手市増田まんが美術館（視察見学）
↓
十文字I.C
↓
大曲I.C
↓
15:35 大曲駅（下車）
↓
大曲I.C
↓
16:10 西仙北SA（休憩）
↓
秋田空港I.C
↓
16:45 秋田空港（下車）
↓
17:20 秋田駅東口

お一人当たり旅行代金…12,000円

お食事…昼食


日の丸醸造


旧松浦家


佐藤家住宅


旧石田理吉家

Hコース（9時間25分）

白井晟一　秋田時代を探る

四同舎（旧湯沢酒造会館）

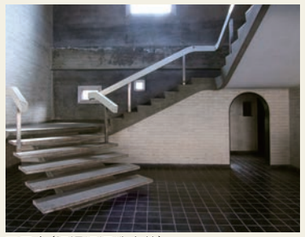
昭和34（1959）年竣工。この地域の酒造家たちが出資し、秋田国体にそなえ集会施設として建てられたRC造2階建の建物です。外観はRCの柱を黒塗りの鋼板で包み力強く、壁は柔らかいテクスチャーの白のタイル仕上げ。エントランス・階段室は吹き抜けの空間に設置され、人々を優しく2階へ導くようにつくられています。（平成31年・国登録有形文化財）

旧秋ノ宮村役場

昭和26（1951）年竣工。切妻の大屋根で軒の出が深く方杖で支え、豪雪に配慮された設計になっています。左右対称の立面はおおらかで開放的でバランスがよく自然と調和し、「民衆に基盤を置くヒューマニズムの設計者」として特異な評価を得た作品です。

稲住温泉「離れ客室3室」（杉亭・嵐亭・漣亭）

離れ3棟は、昭和34（1959）年から数年の時間をかけ設計されています。各棟の構成はそれぞれにつながりを意識しながらも、外部空間の借景を取り入れ、白井独自の「和」のあり方を試みています。伝承された和風建築と一線を区し、時代遡行する中、新しい「和」として挑戦的に作られた建築です。


四同舎（旧湯沢酒造会館）


旧秋ノ宮村役場


稲住温泉「離れ客室3室」

10月15日（土）　8:00〜17:25

8:00 秋田市文化創造館前
↓
秋田南I.C
↓
湯沢I.C
↓
9:30 四同舎
（旧湯沢酒造会館 視察見学）
↓
10:20 試作小住宅（外観のみ見学）
↓
10:35 琅玕席（高久酒造 酒蔵茶室見学）
↓
湯沢I.C
↓
雄勝こまちI.C
↓
11:30 道の駅おがち（昼食・ショッピング）
↓
13:00 稲住温泉離れ3室（視察見学）
浮雲（外観のみ見学）
旧秋ノ宮村役場（外観のみ見学）
↓
雄勝こまちI.C
↓
15:10 大森PA（休憩）
↓
大曲I.C
↓
15:45 大曲駅（下車）
↓
大曲I.C
↓
秋田空港I.C
↓
16:45 秋田空港（下車）
↓
17:25 秋田駅東口

お一人当たり旅行代金…12,000円

お食事…昼食

協力・協賛

協　力　（公財）秋田観光コンベンション協会
田島ルーフィング（株）

特別協賛　山二建設資材（株）
日建学院／（株）建築資料研究社

（一社）秋田県建築士事務所協会
（一財）秋田県建築住宅センター
（一社）秋田県設備設計事務所協会
ティンバラム（株）
福井コンピュータアーキテクト（株）
（株）吉田産業

協　賛

（株）アルファプランウェーブ建築研究所
（株）小田島工務店
加賀谷　時代
小竹　哲夫
（株）佐藤建設
（株）三光企画設計
（株）長岐建築設計事務所
はりま建設（株）
（株）汎建築設計事務所
藤島林産（株）
伊藤建設工業（株）
伊藤工業（株）
（株）エムシーエー建築設計
（有）大嶋建築設計事務所
（有）菊池建築
熊谷建設（株）
（有）久米一級建築設計事務所
（株）コア設計事務所
（株）鈴石設計
創和建設（株）
千代田興業（株）
照井郁人建築設計事務所
（有）都市設計
（株）半田工務店
（有）平野内建築設計事務所
（有）ミツイ設計
むつみ建設（株）
（株）大和組
横手建設（株）

（株）アイネックス
秋田県建設技能組合連合会
（一社）秋田県建設業協会
（公社）秋田県宅地建物取引業協会
秋田建築労働組合
（株）足利工務店
今井　廣子
（株）インターセントラル
羽後電設工業（株）
奥羽電気設備（株）
大垣電機（株）仙台営業所
大高設計舎
大滝　恵里子
大友建設（株）
（有）奥山工務店
開發（株）
（株）角弘 大館支店
加藤建設（株）
北嶋　一美
（株）草階建築創作所
工藤　秀子
後藤徳行建築設計事務所
小林　忠之
（株）小南工務店
（株）近 建築設計事務所
（株）佐々木組　南支店
（有）佐々木工務店
三建塗装（株）
（株）シブヤ建設工業
（株）住建
菅原電気（株）
（株）鈴木建設
鈴木　誠一
鈴木　玲子
（株）創企画
（株）総合資格
高禮建設（株）
（株）瀧神巧業
田口塗装工業（株）
（有）谷口工務店
（株）タニタハウジングウェア
タプロス（株）
塚田工業（株）
（株）道光産業
（有）戸澤組
中田建設（株）
ナショナルエレベーター工業（株）
（株）ナリコー
（有）西方設計
畠山　ミチ子
畑山住宅（株）
林工務店（株）
藤重建設（株）
（株）北勢工業
本荘電気工業（株）
（有）松本工務店
（株）丸臣高久建設
（株）ユアテック 秋田支社

あきた大会開催　おめでとうございます。

こんなに
日建学院で
合格しています!

合格実績

受講生ファーストの
日建学院

日建の
ここがすごい
POINT5

POINT 01

平成元年から令和3年の1級建築士合格実績
この33年間に誕生した1級建築士の半数以上が
日建学院の受講生です!

1級建築士 合格実績 No.1

日建学院 平成元年～令和3年の合格実績

1級建築士 全国累計 165,868人※ 93,110人

当学院の1級建築士合格者占有率 56.1%

この33年間に誕生した1級建築士の半数以上が日建学院の受講生です!

※上記全国累計は(公・財)建築技術教育普及センター発表試験結果(1989～2021年)のデータです。

POINT 02

おかげさまで10冠達成!
外部調査機関調べ

総合満足度
顧客満足度 No.1

建築士講座 AWARD No.1 2021 JNR ORGANIZATION

- リピート満足度
- 使用教材の満足度
- カリキュラム充実度
- 価格の満足度
- 設備体制学習環境の充実度
- 職員の対応サポート力
- 担当者の最適なコース提案力
- 感染対策の満足度

日本マーケティングリサーチ機構調査概要:2021年9月期_顧客満足度調査

POINT 03

私も日建学院で1級建築士を
取得しました!
だからこそできる
受講生ファースト!
コンプライアンスを重視し、
徹底的にサポート!



代表取締役　馬場 栄一

POINT 04

大学生の1級建築士合格者の多くが
日建学院生です!

合格

福井工業大学	70.00%	大分大学	66.67%	日本女子大学	62.50%
金沢工業大学	60.00%	日本工業大学	58.33%	愛知産業大学	55.55%
東京工業大学	55.17%	東京大学	54.55%	愛知工業大学	53.85%
大阪市立大学	51.11%	大阪大学	50.00%	早稲田大学	46.83%

※上記数値に無料の役務提供者及び、模擬試験だけの受講生は含まれておりません。
※2022年1月13日時点での日建学院独自調べによる速報値です。

POINT 05

建築士法改正後、
1級建築士
全国最年少
合格者(20歳)も
日建学院から
輩出しました!



あなたの夢、応援します。

日建学院

県内のお問合せ
秋田校 TEL.018-801-7070
〒010-0001 秋田県秋田市中通6-7-9
秋田県畜産会館2F

全国のお問合せ
日建学院コールセンター フリーコール 0120-243-229
株式会社建築資料研究社　東京都豊島区池袋2-50-1 受付／10:00～17:00(年末年始12/28～1/5、土・日・祝日を除く)

一般財団法人
秋田県建築住宅センター

第64回建築士会全国大会あきた大会の開催を心よりお祝い申し上げます。
私たちは建築や住宅に関する様々なサービスを通じて、
県民の皆様の安全安心な住生活を支えていきます。

主な業務内容

◆住宅相談・各種講習会
◆公営住宅指定管理業務
◆各種審査・検査業務

・建築確認検査　・住宅性能評価
・構造計算適合性判定
・長期使用構造等確認審査
・建築物エネルギー消費性能適合性判定
・低炭素建築物技術審査
・住宅瑕疵担保責任保険

理事長	髙橋　行文
常務理事兼事務局長	植田　一
理事兼事務局次長	伊藤加久子
理事兼課長	佐藤　温

（全員が建築士会会員です）

〒010-0001
秋田市中通二丁目3-8　アトリオンビル5階
TEL:018-836-7850
E-Mail:info@akjc.or.jp
URL:http://www.akjc.or.jp

これまでも、これからも未来を創造し続ける企業

人のそばに、夢のそばに。
山二建設資材株式会社

建設資材販売・各種建築工事請負

本　　社	010-1415	秋田市御所野湯本３－１－５	TEL 018-826-0300
大曲営業所	014-0065	大仙市下深井板口端３９	TEL 0187-62-2631
横手営業所	013-0054	横手市柳田字新藤２２６－４	TEL 0182-32-9723
大館営業所	017-0838	大館市山館字八幡下１５０	TEL 0186-42-7521
能代営業所	018-0877	能代市仙遊長根２９－４	TEL 0185-74-7460
仙台支店	020-0834	仙台市青葉区愛子東６－３－２９	TEL 022-302-8351

ホームページ　https://www.yamani-ks.co.jp

